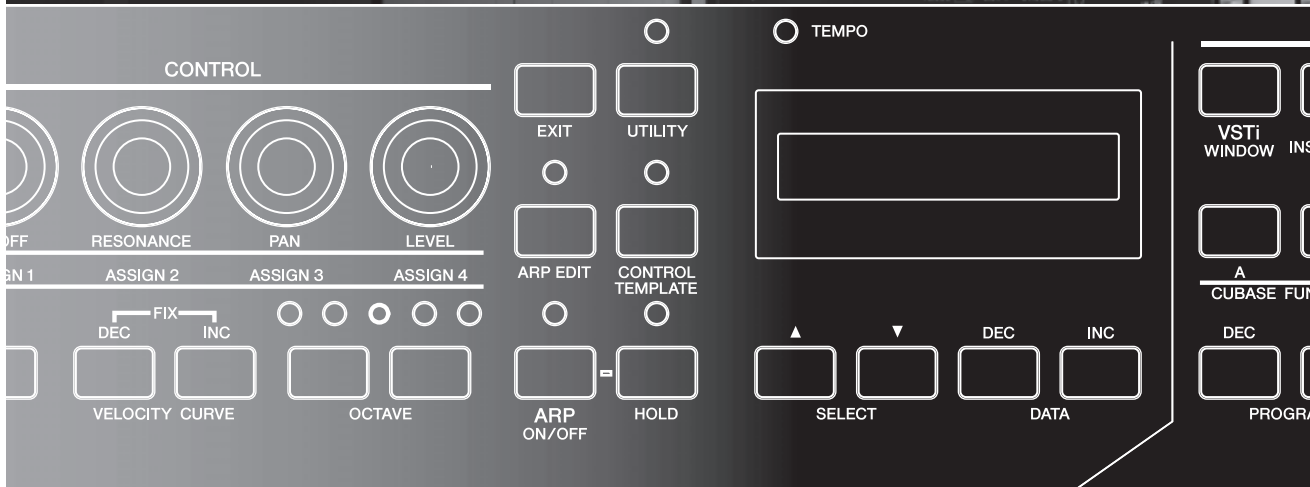


USB KEYBOARD STUDIO

KX25/KX49/KX61/KX8



取扱説明書



安全上のご注意




ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

この製品の内部には、お客様が修理 / 交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。

警告

電源 / 電源アダプター



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず指定のもの (PA-3C、PA-130、またはヤマハの推奨品) を使用する。
(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。



禁止

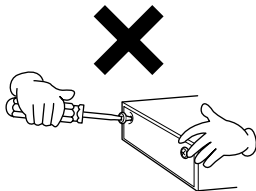
電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。
また、電源コードに重いものをのせない。
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。
異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本体の上ろうそくなど火気のあるものを置かない。
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら



必ず実行

電源アダプターコード / プラグ / USB ケーブルがいたんだ場合、または、使用中に異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、USBケーブルを取り外す。

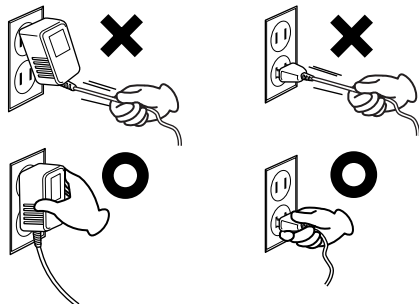
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

⚠ 注意

電源 / 電源アダプター



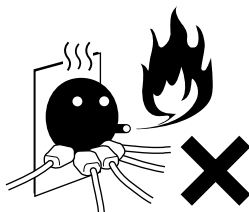
電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源アダプターコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電や火災、故障の原因になることがあります。



たこ足配線をしてはいけない。音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



設置



直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



不安定な場所に置かない。本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。

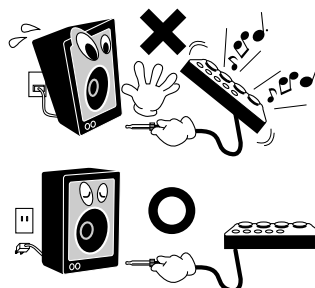


この機器を電源コンセントの近くに設置する。電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続



他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。感電または機器の損傷の原因になることがあります。



手入れ



本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。お手入れには、乾いた柔らかい布、もしくは水を固くしぼった柔らかい布をご使用ください。

使用時の注意



本体のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをされるおそれがあります。

禁止



パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

禁止



本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。

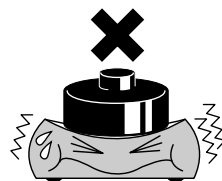
本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。

禁止



本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



データの保存

作成したテンプレートの保存とバックアップ



必ず実行

コンピューターや本体操作によって書き換えたテンプレートはKX本体内部のメモリーに保存されます。保存したデータは故障や誤操作のために失われることがあります。大切なテンプレートは、専用のエディターソフトウェア「KX Editor」(6ページ)を使ってコンピューターに保存してください。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

電源スイッチを切った状態（電源スイッチが「STANDBY」の状態）でも微電流が流れています。スタンバイ時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

ご注意

- ・取扱説明書の著作権はすべてヤマハ株式会社所有します。
- ・この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・この製品は、ヤマハ株式会社が著作権を有する著作物やヤマハ株式会社から第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDI データ、WAVE データ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ株式会社の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。
- ・ヤマハ株式会社および第三者から販売もしくは提供されている音楽 / サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用时には、著作権の専門家に相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Mac および Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・Steinberg および Cubase は、Steinberg Media Technologies GmbH の登録商標です。
- ・「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびは、ヤマハ USB KEYBOARD STUDIO KX25 / KX49 / KX61 / KX8(以降 KX) をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。KX は、DAW ソフトウェアを使った音楽制作に最適なコントロールキーボードと、最先端の DAW ソフトウェア Cubase AI4 をパッケージ化した製品です。USB ケーブルを使って KX とコンピュータを接続するだけで、快適な音楽制作環境を構築できます。KX の優れた機能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用前に必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

特長

Cubase との高い親和性

Cubase 4 / Cubase Studio 4 / Cubase Essential 4 / Cubase AI4(以降 Cubase) に最適化された連携機能を搭載しており、ワークフローに沿って効率よく音楽制作が行なえます。

VST インストゥルメント (VSTi) のトラック操作

KX 本体には内蔵音源がないので、コンピュータ上の VST 対応ソフトウェアシンセサイザー(VST インストゥルメント = VSTi) を使って音を鳴らすことになります。KX では、Cubase 上のトラック作成や VSTi に搭載されたインストゥルメントの選択などを、パネル上のボタンを使って操作できます。

さまざまなパラメーターを操作できる 4 つのノブを搭載

VST 対応ソフトウェアシンセサイザーのパラメーター操作に最適な、4 つのノブを搭載しました。操作したい各種ソフトウェアシンセサイザーに対応するテンプレートを選択するだけで、すぐに各種ソフトウェアシンセサイザーのパラメーターを操作できます。

さまざまな VST 対応ソフトウェアシンセサイザー(VSTi) に対応した 30 種類のコントロールテンプレートを搭載しています。また、テンプレートをカスタマイズすれば、ノブにお好みの機能を割り当てることも可能です。

フレーズ作成に便利なアルペジオを搭載

押さえた鍵盤を元にさまざまなフレーズを再生するアルペジオを搭載しています。アナログシンセ風のシーケンスフレーズ、ギター / ベースなどのバックギン演奏、ドラム / パーカッションフレーズなど、さまざまなフレーズを簡単な操作で再生できます。

USB バスパワー動作

コンピュータの USB 端子から KX へ電源を供給する USB バスパワーに対応しています。コンピュータと KX を USB ケーブル 1 本を使って接続するだけで、KX に電源を供給できます。

付属品

- ・ 電源アダプター(PA-3C、PA-130、またはヤマハの同等品)
- ・ 取扱説明書(本書)
- ・ 保証書
- ・ USB ケーブル
- ・ Cubase AI4 DVD-ROM
- ・ TOOLS for KX DVD-ROM

KX Editor について

KX 上の設定を編集するための専用エディターソフトウェア、「KX Editor」があります。下記ヤマハサイトからダウンロードしてお使いいただけます。

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/dl/>

付属のディスクについて

ディスク使用上のご注意



同梱されているソフトウェアのディスクは、オーディオ / 映像用ではありません。コンピューター以外の機器では絶対に使用しないでください。

- TOOLS for KX DVD-ROM に収録されている USB-MIDI ドライバー、Extensions for Steinberg DAW の著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- Cubase AI 4 DVD-ROM の著作権は、Steinberg Media Technologies GmbH 社が所有します。ヤマハ株式会社では、Cubase AI 4 についてのサポートは一切行っておりません。
- TOOLS for KX DVD-ROM の「VSTis」フォルダーに入っている各種 VSTi の著作権はそれぞれの会社が所有します。ヤマハ株式会社では、各種 VSTi についてのサポートは一切行っておりません。
- 巻末にソフトウェアのご使用条件が記載されています。このソフトウェアをインストールする前に、必ずこのご使用条件をお読みください。ディスクの包装を解かれた場合は、このソフトウェアのご使用条件に同意したことになります。
- ソフトウェアの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ソフトウェアを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については Web(ヤマハサイト上) での対応とさせていただきます。

NOTE

- Windows で PDF マニュアルをご覧になるには、コンピューターに Adobe Reader(無償) がインストールされている必要があります。Adobe Reader をお持ちでない方は、下記 URL から Adobe 社のページを開き、Adobe Reader をダウンロードしてください。
<http://www.adobe.com/jp>

ソフトウェアの動作環境

付属ディスク (Cubase AI4、TOOLS for KX) に入っているソフトウェアをインストールしてお使いいただくためには、以下の動作環境が必要です。

Windows

OS	: Windows XP Professional/XP Home Edition/Vista(32ビット版)
CPU	: Intel Pentium プロセッサー 1.4GHz 以上
メモリー	: 512MB
画面解像度	: 1280 × 800 フルカラー
インターフェース	: USB 端子を搭載していること
ハードディスク	: 1GB 以上の空き容量、高速なハードディスク

Mac

OS	: Mac OS X 10.4.x または 10.5.x
CPU	: Power Mac G4 1GHz または Core Solo 1.5GHz 以上
メモリー	: 512MB
画面解像度	: 1280 × 800 フルカラー
インターフェース	: USB 端子を搭載していること
ハードディスク	: 1GB 以上の空き容量、高速なハードディスク

NOTE

- TOOLS for KX に収録されている USB-MIDI ドライバーについては、最新版を以下 URL からダウンロードしてお使いいただけます。また最新版の動作環境もご確認いただけます。
http://www.yamaha.co.jp/download/usb_midi/
- TOOLS for KX に収録されている Extensions for Steinberg DAW については、最新版を以下 URL からダウンロードしてお使いいただけます。また最新版の動作環境もご確認いただけます。
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>
- Cubase AI 4 の動作環境については、下記 URL に最新情報が掲載されています。
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/smtg/>
- Cubase AI4 以外の DAW ソフトウェアをご使用の場合は、それぞれの取扱説明書や各社のサイトで動作環境をご確認ください。
- 他社製 VSTi (TOOLS for KX に収録) の動作環境については、各ソフトウェアのフォルダー内にあるインストールガイドなどをご参照ください。

重要

- インストールには DVD ドライブが必要になります。
- Cubase AI4 をインストールするときには、ソフトウェアライセンス認証のため、インターネットに接続している必要があります。

目次

はじめに	6	ノブを使って VSTi を操作する	24
特長	6	トランスポート / トラックを操作する	25
付属品	6	KX の基本操作	26
付属のディスクについて	7	ディスプレイに表示される画面	26
ディスク使用上のご注意	7	トップ画面	26
ソフトウェアの動作環境	7	アルペジオエディット画面	26
Windows	7	コントロールテンプレート選択画面	26
Mac	7	ユーティリティー画面	26
電源	9	オクターブを切り替える	27
電源の準備	9	ペロシティーカーブを切り替える	27
電源アダプターを使用する場合	9	コントロールテンプレート	28
USB パスパワーを使用する場合	9	コントロールテンプレートを選択する	28
電源のオン / オフ	9	コントロールテンプレートを編集する	29
各部の名称と機能	10	CONTROL ノブ操作で出力されるメッセージの種類を変更する	29
KX でできること	12	CONTROL ノブ操作で出力されるコントロールチェンジを変更する	30
鍵盤を使った演奏	12	アルペジオ	31
DAW ソフトウェアのトランスポート /		アルペジオタイプを選択する	31
トラック操作	12	アルペジオの再生テンポについて	32
VSTi のウィンドウ操作	12	アルペジオを編集する	33
音源のパラメーターコントロール	12	アルペジオのパラメーター一覧	33
アルペジオを使ったフレーズ演奏	12	Cubase 以外の DAW ソフトウェアで使用するには	34
セットアップ	13	Digital Performer で KX を使用する場合 (Mac ご使用の場合)	35
Cubase AI4 DVD-ROM を使ったインストール	13	KX の各種設定を変更する	36
Windows の場合	13	基本操作	36
Mac の場合	13	ユーティリティー画面設定項目一覧	36
TOOLS for KX DVD-ROM を使ったインストール	13	KX を工場出荷時の状態に戻す (ファクトリーセット)	37
Windows の場合	14	MIDI スルーの設定を切り替える	38
Mac の場合	15	トラブルシューティング (困ったときは)	39
接続	16	メッセージ一覧	40
Cubase と KX を組み合わせて使ってみよう	17	TOOLS for KX DVD-ROM のご使用条件	41
KX 側の準備	17	Cubase AI4 のご使用条件	42
Cubase 側の準備	17	資料	44
KX の MIDI ポートについて	18	仕様	44
VSTi を設定する	19	コントロールテンプレートリスト	45
VSTi のトラックを作成する	19	アルペジオタイプリスト	46
VSTi ウィンドウを開いてインストールメントを選ぶ	19	MIDI インプリメンテーションチャート	50
鍵盤を弾いてみよう	20	索引	52
アルペジオを鳴らしてみよう	20	ユーザーサポートについて	54
指 1 本でアルペジオを鳴らす	20		
アルペジオを鳴らしたままにする	21		
いろいろな鍵盤を押さえてみよう	21		
CUBASE FUNCTION ボタンを使う	23		
CUBASE FUNCTION ボタンの機能	23		
CUBASE FUNCTION ボタンの機能を変更する	23		

電源

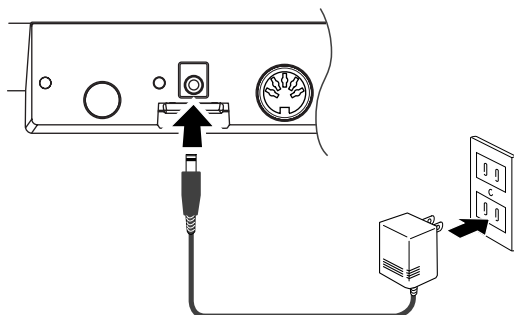
電源の準備

KX は 2 種類の電源供給に対応しており、どちらの方法でも利用できます。

- ・ 電源アダプターによる電源供給
- ・ USB バスパワーによる電源供給

電源アダプターを使用する場合

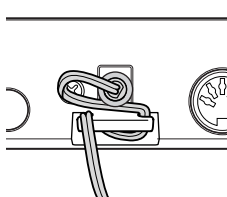
1. KX の STANDBY/ON スイッチが STANDBY の状態 (■) であることを確認します。
2. 電源アダプターのプラグをリアパネルの DC IN 端子に差し込みます。
3. アダプターの電源プラグを家庭用 (AC100V) コンセントにしっかり差し込みます。



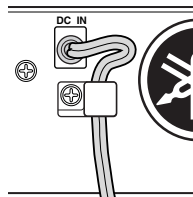
- ❗ 電源アダプターは、必ず付属のもの (PA-3C または PA-130) またはヤマハ推奨の同等品をご使用ください。ほかの電源アダプターの使用は、故障、発熱、発火などの原因になります。このようなときは、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、十分ご注意ください。

・ KX61 または KX8 をご使用の場合は、電源アダプターのコードをフックにはめてから DC IN 端子に接続してください。誤ってコードを引っ掛けた場合にプラグが抜けにくくなります。ただし、コード表面の磨耗やフックの破損につながりますので、コードをフックにセットした状態でコードを強く締め込んだり、コードを引っ張ったりすることはおやめください。

KX61



KX8



USB バスパワーを使用する場合

KX はバスパワー対応機器ですので、USB ケーブルを通じてコンピューターから KX へ電源を供給できます。この場合、電源アダプターは不要です。

1. KX の STANDBY/ON スイッチが STANDBY の状態 (■) であることを確認します。
2. コンピューターと KX の USB TO HOST 端子を USB ケーブルで接続します。

NOTE

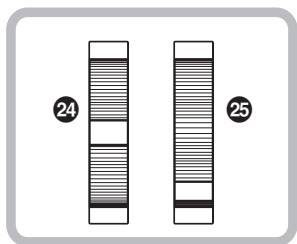
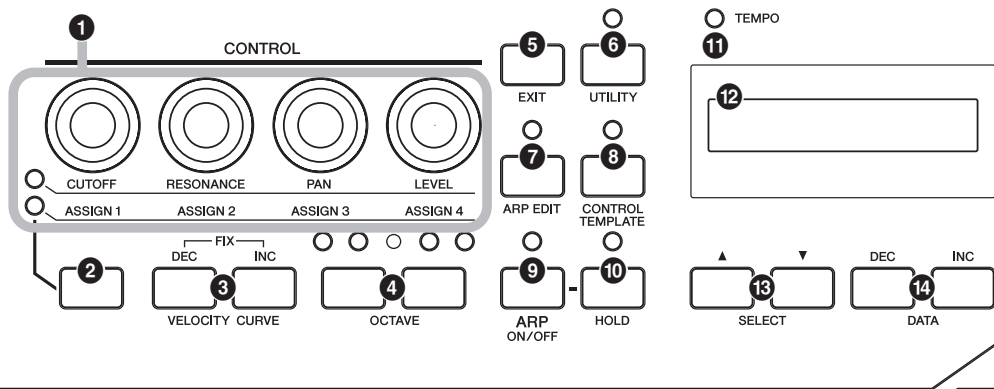
- ・ Mac をご使用で KX の電源を入れたままにした場合、操作しない状態が長く続いても、コンピューターは省電力モード (スリープ、サスペンドなど) に入れません。この場合、コンピューターから電源が供給され続けるので、コンピューターをバッテリーで動かしている場合はバッテリーの電力が消費されます。コンピューターの消費電力を節約するためにも、長時間使用しない場合は KX の電源をオフにしてください。
- ・ USB バスパワー機能は、コンピューターとの直結またはセルフパワー方式の USB ハブを使用した場合にのみ利用できます。バスパワー方式の USB ハブ使用時には利用できません。
- ・ 電源アダプターを使って KX を動作させている場合、USB バスパワー機能は動作しません。

電源のオン / オフ

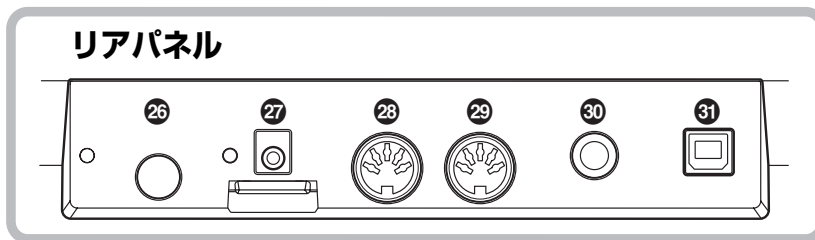
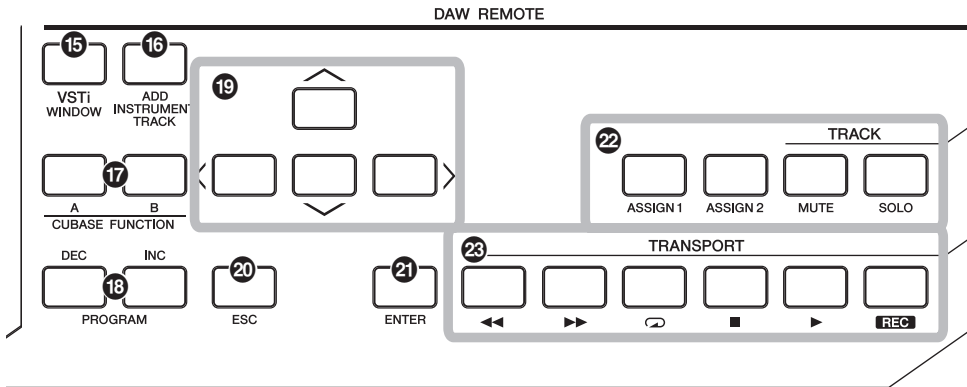
1. 電源をオンにするには、STANDBY/ON スイッチを押して ON (■) にします。
2. 電源をオフにするには、STANDBY/ON スイッチを押して STANDBY (■) に戻します。

- ❗ STANDBY/ON スイッチが STANDBY の状態でも微電流が流れています。長時間使用しないときは、必ず電源アダプターをコンセントから外し、USB ケーブルも KX から外してください。

各部の名称と機能



- ① **CONTROL ノブ** 24 ページ
VSTi などのパラメーターを操作します。
- ② **ノブ切り替えボタン** 24 ページ
CONTROL ノブに割り当てる機能を切り替えます。
- ③ **VELOCITY CURVE [DEC][INC] ボタン**
..... 27 ページ
キーボードのペロシティーカーブや設定値を切り替えます。
- ④ **OCTAVE ボタン** 27 ページ
鍵盤で演奏する音域をオクターブ単位で上下に切り替えます。
- ⑤ **[EXIT] ボタン** 26 ページ
ディスプレイの表示を元に戻したり、パラメーターの表示をスクロールしたりします。
- ⑥ **[UTILITY] ボタン** 36 ページ
KX の各種設定を行ないます。
- ⑦ **[ARP EDIT] ボタン** 31 ページ
アルペジオタイプを選択したり、アルペジオの再生方法を設定します。
- ⑧ **[CONTROL TEMPLATE] ボタン**
..... 28 ページ
CONTROL ノブに割り当てるテンプレートを選択します。
- ⑨ **[ARP ON/OFF] ボタン** 20 ページ
アルペジオのオン / オフを切り替えます。
- ⑩ **[HOLD] ボタン** 21 ページ
アルペジオのホールド機能のオン / オフを切り替えます。
- ⑪ **TEMPO LED** 32 ページ
アルペジオのテンポ設定に合わせて LED が点滅します。
- ⑫ **ディスプレイ** 26 ページ
操作に応じてさまざまな情報が表示されます。
- ⑬ **SELECT [▲][▼] ボタン** 26 ページ
パラメーターを選択します。
- ⑭ **DATA [DEC][INC] ボタン**
..... 17,31 ページ
選択されたパラメーターの設定値を増減させます。
- ⑮ **[VSTi WINDOW] ボタン** 19 ページ
Cubase 上で VSTi ウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。
- ⑯ **[ADD INSTRUMENT TRACK] ボタン**
..... 19 ページ
Cubase 上で VSTi 用のトラックを作成します。



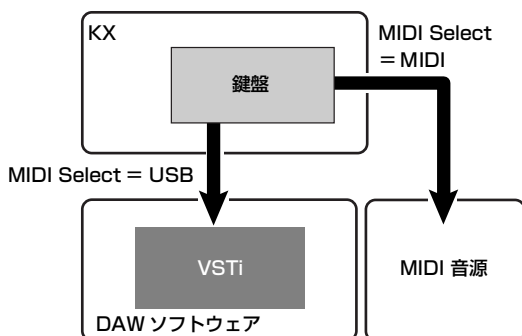
- 17 CUBASE FUNCTION [A][B] ボタン**
.....23 ページ
Cubase 上でそれぞれのボタンに割り当てられた操作を行ないます。
- 18 PROGRAM [DEC][INC] ボタン**
.....19 ページ
DAW ソフトウェア上で選択されたトラックに割り当てた VSTi のインストールメントを切り替えます。
- 19 カーソルボタン** 25 ページ
コンピューターのカーソルキーと同じ操作が行なえます。
- 20 [ESC] ボタン** 25 ページ
コンピューターの [Esc](esc) キーと同じ操作が行なえます。
- 21 [ENTER] ボタン** 25 ページ
コンピューターの [Enter](return) キーと同じ操作が行なえます。
- 22 トラックコントロールボタン** 25 ページ
Cubase のトラック操作を行ないます。
- 23 トランスポートコントロールボタン**
..... 25 ページ
録音 / 再生など、DAW ソフトウェアのトランスポート操作を行ないます。
- 24 ピッチベンドホイール** 12、17 ページ
ピッチを上下に変化させるピッチベンド効果をコントロールします。
- 25 モジュレーションホイール** .. 12、17 ページ
ビブラートなどのモジュレーション効果をコントロールします。
- 26 STANDBY/ON スイッチ**9 ページ
電源のオン / オフを切り替えます。
- 27 DC IN 端子**9 ページ
付属の電源アダプターを接続します。
- 28 MIDI IN 端子**..... 16 ページ
外部 MIDI 機器から送信された MIDI メッセージを受信します。
- 29 MIDI OUT 端子** 16 ページ
外部 MIDI 機器に MIDI メッセージを送信します。
- 30 SUSTAIN 端子** 16 ページ
別売のフットスイッチ (FC4 または FC5) を接続します。
- 31 USB TO HOST 端子**..... 16 ページ
コンピューターと USB ケーブルで接続する場合にこの端子を使います。KX は USB バスパワー対応機器ですので、USB ケーブルを通じてコンピューターから電源供給を受けることができます。

KX できること

KX では以下のことが行なえます。

鍵盤を使った演奏

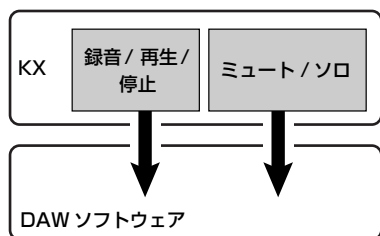
鍵盤を弾いたり、ピッチベンドホイールやモジュレーションホイールを操作して、コンピューター上の VSTi 対応ソフトウェアシンセサイザーやトーンジェネレーターなどの外部 MIDI 音源を演奏することができます。



NOTE MIDI メッセージの入出力経路は、MIDI Select パラメーターの設定に応じて変わります。詳しくは「KX の各種設定を変更する」(36 ページ) をご参照ください。

DAW ソフトウェアのトランスポート / トラック操作

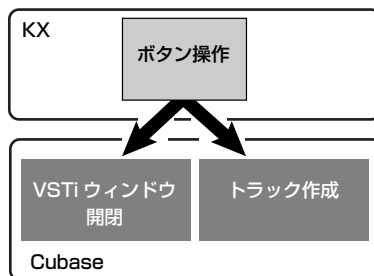
録音 / 再生 / 停止などのトランスポート操作や、ミュート / ソロ切り替えなどのトラック操作をリモートコントロールできます。



NOTE ミュート / ソロなどのトラック操作については、Cubase に対してのみ可能です。

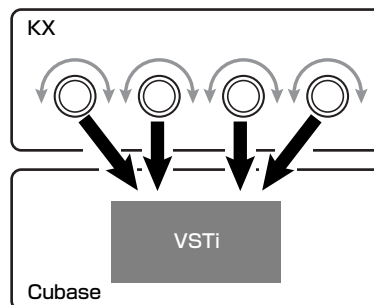
VSTi のウィンドウ操作

Cubase をご使用の場合は、VSTi 関連のウィンドウを開閉したり、VSTi 用のトラックを作成したりできます。



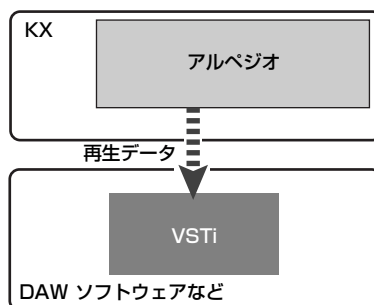
音源のパラメーターコントロール

CONTROL ノブを使って、VSTi やシンセサイザーなどの音源のパラメーターをリモートコントロールできます。



アルペジオを使ったフレーズ演奏

アナログシンセ風のアルペジオや、ギターやピアノのバックイング演奏など、簡単な操作でさまざまなフレーズを作り出すことができます。




セットアップ

Cubase AI4 DVD-ROM を使ったインストール


重要

インストールの過程で「スタインバーグ・エンドユーザー・ライセンス契約書」が表示されますが、その契約書は、巻末のソフトウェア使用許諾契約に置き換えられるために、意味のないものです。必ず巻末の「Cubase AI4 のご使用条件」をお読みいただき、同意される場合のみインストールしてください。

NOTE  すでに Cubase をインストールされている場合は、下記操作は不要です。「TOOLS for KX DVD-ROM を使ったインストール」から作業を行なってください。

Windows の場合

1. コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログオンします。
2. Cubase AI4 DVD-ROM を DVD-ROM ドライブに挿入します。
3. 「Cubase AI 4 for Windows」フォルダーを開き、「CubaseAI4.msi」をダブルクリックします。画面の指示に従ってインストールしてください。

NOTE  ・ Cubase AI4 を継続してご使用いただくために、ユーザー登録とソフトウェアライセンス認証が必要です。登録と認証は、インターネットに接続した状態で Cubase AI4 を起動したときに行なえます。起動時に表示される「今すぐ登録」ボタンをクリックし、表示されたすべての項目を入力してください。登録と認証をされない場合は、インストール後、一定期間のみご使用いただけます。詳しい手順は、下記 URL のガイドをご参照ください。
http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/register_cubase_ai_4_j
 ・ Cubase 4、Cubase Studio 4、Cubase Essential 4 をお使いになられる場合も、Extensions for Steinberg DAW をインストールする前に、それらのソフトウェアをインストールしてください。

Mac の場合

1. コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログインします。
2. Cubase AI4 DVD-ROM を DVD-ROM ドライブに挿入します。
3. 「Cubase AI 4 for MacOS X」フォルダーを開き、「Cubase AI 4.mpkg」をダブルクリックします。画面の指示に従ってインストールしてください。

TOOLS for KX DVD-ROM を使ったインストール


TOOLS for KX DVD-ROM には以下のソフトウェアが入っています。

- Extensions for Steinberg DAW インストーラー
- USB-MIDI ドライバー
- 他社製 VSTi インストーラー

これらのうち、Extensions for Steinberg DAW については Cubase を効率よく使うために、また USB-MIDI ドライバーについては KX とコンピューターの通信を可能にするために、それぞれ必要です。VSTi については、必要に応じてインストールしてください。

Extensions for Steinberg DAW をインストールすると、Cubase と KX とを組み合わせ、以下の機能を実現できます。

- コンピューターと KX を接続したときに、Cubase が KX 本体をリモートコントローラーとして認識します。
- KX 本体上の CONTROL ノブやボタン操作により、Cubase 上の VSTi 対応ソフトウェアシンセサイザーのパラメーターをエディットできます。
- コンピューター上での VSTi 切替に伴い、KX 本体のコントロールテンプレート (28 ページ) が自動的に変更されます。

NOTE  ・ 必要に応じて他社製の VSTi をインストールする場合は、「VSTis」フォルダーの各 VSTi のインストールガイドに従ってインストールしてください。
 ・ アンインストールについては各ソフトウェアのフォルダー内にあるインストールガイドをご参照ください。

Windows の場合

NOTE 下記手順 5 にある「Extensions for Steinberg DAW」をインストールする前に、Cubase のインストールを必ず行なってください。

1. KX の電源がオフであることを確認します。
2. KX の MIDI IN/OUT 端子に接続されている MIDI 機器の接続ケーブルをすべて外しておきます。
3. コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログインします。
4. TOOLS for KX DVD-ROM を DVD-ROM ドライブに挿入します。
5. DVD-ROM 内の「Extensions for Steinberg DAW」フォルダーを開き、「setup.exe」をダブルクリックします。
Extensions for Steinberg DAW のインストール開始画面が表示されます。
6. 「次へ」をクリックすると、「Yamaha Extensions for Steinberg DAW セットアップへようこそ」という画面が表示されます。

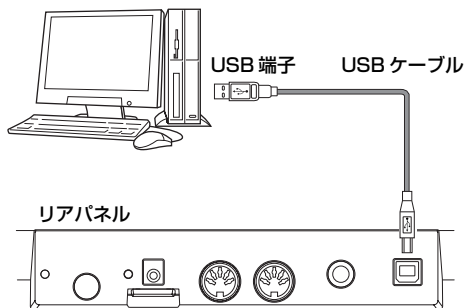
NOTE

- ・ インストールされる Extensions for Steinberg DAW と同じバージョンのソフトウェアがすでにコンピューターにインストールされている場合は、メンテナンスの完了画面が表示されます。この場合は画面内の「完了」をクリックします。
- ・ 新しいバージョンのソフトウェアがインストールされている場合は、すでに新しいバージョンがインストールされていることを示す画面が表示されます。この場合、インストールは不要です。画面内の「OK」をクリックします。
- ・ 古いバージョンのソフトウェアがインストールされている場合は、ソフトウェアが更新されます（操作手順は、ソフトウェアを新規インストールする場合と同じです）。

7. 「次へ」をクリックすると、インストールが開始されます。
インストールを中断するには、「キャンセル」をクリックしてください。

NOTE インストールの途中、「セットアップタイプ」画面で「カスタム」を選択すると、インストールする Extensions for Steinberg DAW の種類を選択できます。

8. インストールが完了すると、インストール完了のメッセージが表示されます。「完了」をクリックします。
9. KX をコンピューターの USB 端子にハブを使わず直接つなぎます。



10. STANDBY/ON スイッチを押して、KX の電源をオンにします。
KX がコンピューターに認識されます。

11. USB-MIDI ドライバーをインストールします。

NOTE USB-MIDI ドライバーのインストール方法については「USB-MIDI_Driver」フォルダーの「installationguide_ja.pdf」をご参照ください。

以上でインストールは完了です。

重要

これ以降、KX とコンピューターを接続しなおす場合は、同じ USB 端子を使ってください。別の USB 端子に USB ケーブルを差し込むと、もう一度 USB-MIDI ドライバーをインストールしなければいけません。

Mac の場合

NOTE 下記手順 5 にある「Extensions for Steinberg DAW」をインストールする前に、Cubase のインストールを必ず行なってください。

1. KX の電源がオフであることを確認します。
2. KX の MIDI IN/OUT 端子に接続されている MIDI 機器の接続ケーブルをすべて外しておきます。
3. コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログオンします。
4. TOOLS for KX DVD-ROM を DVD-ROM ドライブに挿入します。
5. DVD-ROM 内の「Extensions for Steinberg DAW」フォルダーを開き、「Yamaha Extensions for Steinberg DAW.mpkg」をダブルクリックします。
「ようこそ Yamaha Extensions for Steinberg DAW インストーラーへ」という画面が表示されます。
6. [続ける] をクリックします。

NOTE ・ このパッケージには、ソフトウェアをインストールできるかどうかを判断するプログラムが含まれています。続けてもよろしいですか? というダイアログが表示されたら、[続ける] をクリックしてください。
・ すでに Extensions for Steinberg DAW がインストールされている場合は、既存のソフトウェアが上書きされます。

7. 画面の指示に従ってインストールを実行します。

NOTE ・ インストール先の選択では起動ディスクのみが選択可能です。
・ インストールの途中、「インストールの種類」画面で「カスタマイズ」を選択すると、インストールする Extensions for Steinberg DAW の種類を選択できます。

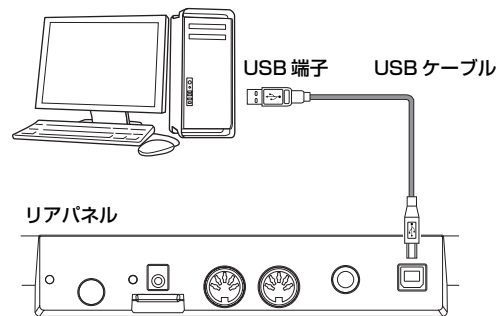
8. インストールが完了すると、インストール完了のメッセージが表示されます。[閉じる] をクリックします。

9. USB-MIDI ドライバーをインストールします。

NOTE ・ USB-MIDI ドライバーのインストール方法については「USB-MIDI_Driver」フォルダーの「installationguide_ja.pdf」をご参照ください。
・ KX を接続すると「キーボード設定アシスタント」画面が表示されます。この場合は画面左上の赤い丸をクリックして画面を閉じてください。



10. KX をコンピューターの USB 端子にハブを使わず直接つなぎます。



11. STANDBY/ON スイッチを押して、KX の電源をオンにします。

KX が Mac に認識されます。

以上でインストールは完了です。

USB TO HOST 端子ご使用時の注意

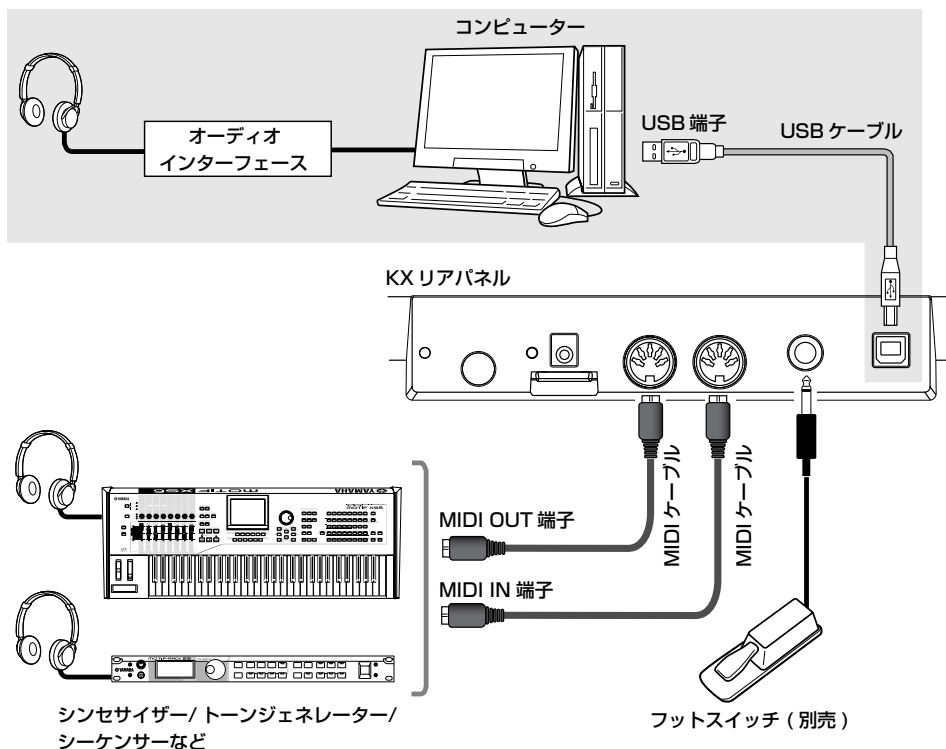
USB TO HOST 端子でコンピューターと接続するときは、以下のことを行なってください。以下のことを行なわないと、コンピューターや本体が停止（ハングアップ）して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。コンピューターや本体が停止したときは、アプリケーションやコンピューターを再起動したり、本体の電源を入れなおしてください。

- ・ USB ケーブルは、AB タイプのものをご使用ください。また、3 メートル以下のケーブルをご使用ください。
- ・ USB TO HOST 端子でコンピューターと接続する前に、コンピューターの省電力（サスペンド / スリープ / スタンバイ / 休止）モードを解除してください。
- ・ 本体の電源を入れる前に、USB TO HOST 端子とコンピューターを接続してください。
- ・ 本体の電源オン / オフや USB ケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行なってください。
 - すべてのアプリケーションを終了させてください。
 - 本体からデータが送信されていないか確認してください。（鍵盤を演奏したりアルペジオを再生させたりしても、本体からデータが送信されません。）
- ・ 本体の電源オン / オフや USB ケーブルの抜き差しは、6 秒以上間隔を空けて行ってください。

接続

13 ページ～ 15 ページで説明したインストール操作により、コンピューターと KX 本体は下図のように、既に USB ケーブルで接続されました。このあと「Cubase と KX を組み合わせて使ってみよう」(17 ページ) では、13 ページ～ 15 ページでのインストール / 接続が完了していることが前提になります。また演奏音はコンピューターからの出力音を聞くこととなりますので、下図のようにオーディオインターフェース経由でヘッドフォンまたはスピーカーを接続してください。

NOTE MIDI ケーブルで接続できる機器 (シンセサイザー/ トーンジェネレーター/ シーケンサーなど) については、必要に応じて接続してください。



- NOTE**
- ・ KX の初期設定 (MIDI Select = USB ...37 ページ、MIDI Thru = MIDI → USB ...38 ページ) では、13 ページ～ 15 ページの説明に従ってソフトウェアのインストールをすることにより、KX 本体から USB ケーブルを通じてコンピューター上の DAW ソフトウェアをコントロールできるようになっています。たとえば、KX での鍵盤演奏でコンピューター上の VSTi などのソフトシンセサイザーの音を鳴らすことができます。また、MIDI ケーブルで接続された MIDI 機器 (上図ではシンセサイザー) での演奏情報を、KX 経由でそのままコンピューターに送信し、同様に VSTi の音を鳴らすことも可能です。
 - ・ MIDI Select = MIDI (37 ページ) に設定すると、USB 端子が使えなくなり、MIDI ケーブルで接続した MIDI 機器との通信だけになります。たとえば、MOTIF-RACK ES などのトーンジェネレーターを MIDI ケーブルで接続すれば、KX の鍵盤演奏で MOTIF-RACK ES の音を鳴らせます。

フットスイッチについて

SUSTAIN 端子に別売のフットスイッチ (FC4 または FC5) を接続した場合、フットスイッチを踏んでいる間は、鍵盤から指を離しても鍵盤を押さえているのと同じ状態になります。つまり、オルガンのような非減衰音を鳴らしたままにしたり、ピアノのような減衰音に余韻を付けたり、アルペジオ再生 (31 ページ) を鳴らしたままにすることができます。ただし、以上の動作は接続先の音源 (コンピューター上の VSTi など) が MIDI コントロールチェンジナンバー64 を認識する場合に限ります。

! フットスイッチは、KX 本体の電源が入っていないときに抜き差ししてください。電源が入っているときにフットスイッチを抜くと、フットスイッチを踏んだときと同じ状態になり、演奏中の音やアルペジオ再生音が鳴ったままになります。

Cubase と KX を組み合わせて使ってみよう

KX には Cubase との連携機能が搭載されています。この機能を使えば、インストゥルメントトラックの作成やトランスポートコントロールなどを KX パネル上から行なえるので、効率よく音楽制作ができます。13 ページ～ 16 ページの説明で、コンピュータと KX 本体の接続は完了していますので、続いてこの章では実際に Cubase と KX を組み合わせて使ってみることにしましょう。

KX 側の準備

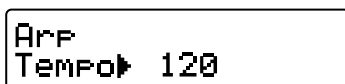
KX で Cubase 連携機能を利用するには、最初に使用する DAW ソフトウェアに合わせて KX 内部の設定を切り替える必要があります。

1. KX リアパネルにある STANDBY/ON スイッチを押して、KX の電源を入れます。

ディスプレイ上にトップ画面 (26 ページ) が表示されます。

2. [UTILITY] ボタンを押します。

ボタン上の LED が点灯し、ユーティリティー画面が表示されます。



3. SELECT [▲][▼] ボタンを使ってディスプレイに DAW Select と表示させます。

この状態で、KX で操作する DAW ソフトウェアを選択できます。



4. DATA [DEC][INC] ボタンを使って使用する DAW ソフトウェアを選択します。

■ Cubase 4 / Cubase Studio 4 / Cubase Essential 4 で KX を使用する場合

Cubase を選択します。

■ Cubase AI4 で KX を使用する場合

CubaseAI を選択します。

5. ディスプレイの表示をトップ画面 (電源オン直後に表示される画面) に戻すには、[EXIT] ボタンを押します。

Cubase 側の準備

KX からの演奏情報 (鍵盤、ピッチベンドホイール、モジュレーションホイールなど) は、USB MIDI ポート 1 経由で Cubase に送られます。ポート 2 やポート 3 では演奏情報とは関係のないメッセージが送られてきますので、コンピュータ側が演奏情報と間違えて、ソフトウェアシンセサイザーの音を鳴らしてしまう可能性があります。これを防ぐため、Cubase 側でポート 2 と 3 の All MIDI Input のチェックを外しておく必要があります。

NOTE

- ・ここでは Windows の画面を使って説明します。Mac でも同じ操作で設定可能です。
- ・KX で扱える USB MIDI ポート 1～3 については、18 ページをご参照ください。

1. Cubase を起動します。

重要

KX の電源を入れる前に Cubase を起動しても、Cubase は KX を認識できません。必ず KX の電源を入れてから Cubase を起動してください。

2. Cubase の [デバイス] メニューから [デバイス設定] を選択します。

「デバイス設定」ダイアログが表示されます。

3. デバイス欄の「MIDI ポートのセットアップ」をクリックします。

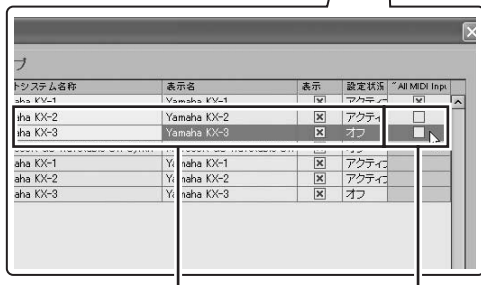
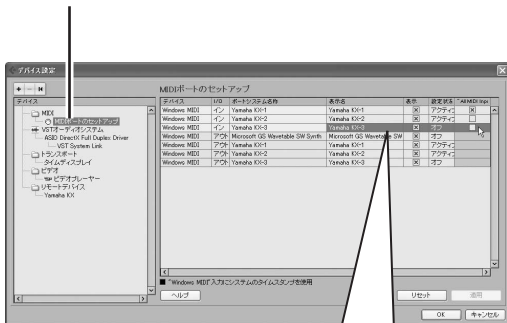
ダイアログの右側に Cubase の MIDI ポートが表示されます。

4. KX の MIDI ポート 2 と MIDI ポート 3 に該当する All MIDI Input のチェックボックスをクリックして、チェックを外します。

Windows では「Yamaha KX-2」と「Yamaha KX-3」が、Mac では「YAMAHA KX Port2」と「YAMAHA KX Port3」が、MIDI ポート 2 と 3 にそれぞれ該当します。KX の MIDI ポート 2 と 3 は、CONTROL ノブの操作情報や専用エディター (KX Editor) のエディット情報など、鍵盤演奏とは違う情報の通信に使われます。これらのポートに該当する All MIDI Input のチェックを外すことにより、Cubase 上のトラックに間違えて演奏情報以外の情報が録音されてしまうことを防ぎます。

NOTE 通常、USB MIDI ポート 2 の All MIDI Input のチェックは、Extensions for Steinberg DAW により自動的に外れています。チェックが入っていた場合は、チェックを外してください。

「MIDI ポートのセットアップ」をクリック



この画面は Windows によるものです。 Mac 上では、「YAMAHA KX Port2」「YAMAHA KX Port3」と表示されます。

5. [OK] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。これで Cubase 側の設定は完了です。

KX の MIDI ポートについて

KX では、USB-MIDI ドライバーをインストールすることにより、3 つの MIDI ポートが使用できます。KX とコンピューターとの USB 通信で各ポートが扱う MIDI メッセージは、以下のとおりです。

MIDI ポート 1:

Windows では「Yamaha KX-1」、Mac では「YAMAHA KX Port1」と表示されます。KX 上での鍵盤演奏 (ノートオン / オフ) やモジュレーションホイール (コントロールチェンジ)、ピッチベンドホイールの操作情報などが送受信されます。

MIDI ポート 2:

Windows では「Yamaha KX-2」、Mac では「YAMAHA KX Port2」と表示されます。KX パネル上のカーソルボタン、[ESC] ボタン、[ENTER] ボタンを除く DAW CONTROL ボタン群の操作情報や CONTROL ノブの操作情報が送受信されます。

MIDI ポート 3:

Windows では「Yamaha KX-3」、Mac では「YAMAHA KX Port3」と表示されます。KX 専用エディター (KX Editor) 上での操作情報が送受信されます。

- NOTE**
- MIDI Select パラメーター (37 ページ) が MIDI に設定されている場合は、USB TO HOST 端子が使えなくなります。この間、USB MIDI ポートを使った MIDI メッセージの送受信は行なえません。
 - コンピューター上で Cubase 以外の DAW ソフトウェアを使用している場合は、USB MIDI ポート 1 で演奏情報、USB MIDI ポート 2 でトランスポートなどの操作情報が送信されるよう、DAW ソフトウェア側で MIDI デバイスの設定を行なってください。
 - Cubase 以外の DAW ソフトウェアをご使用の場合、CONTROL ノブの操作情報はポート 1 から送受信されます。Cubase をお使いの場合でも、KnobOutSel パラメーター (29 ページ) が「CC」に設定されていれば、ノブの操作情報はポート 1 から送信されます。
 - Windows XP ではポートが「USB 0-1」などと表示されることがあります。この場合、[スタート] → [コントロールパネル] から [Yamaha USB-MIDI Driver] をダブルクリックします。「Use Device Name As Port Name (Valid after system restart.)」のチェックボックスにチェックを入れてからコンピューターを再起動してください。

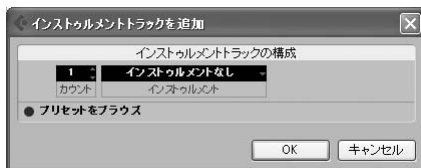
VSTi を設定する

VSTi 用のトラックの作成や VSTi ウィンドウの開閉などは、KX からリモートコントロールできます。通常 Cubase 側で行なう操作を KX から操作することで、より快適に音楽制作が行なえます。

VSTi のトラックを作成する

VSTi 用のトラック (インストールトラック) は、KX 側の簡単な操作で作成できます。

1. Cubase 上で、既存のプロジェクトを開くか、新規プロジェクトを作成します。
2. KX の [ADD INSTRUMENT TRACK] ボタンを押します。
「インストールトラックを追加」ダイアログが開きます。



NOTE Cubase 4/Cubase Studio 4/Cubase Essential 4 では「インストールトラックを追加」ダイアログが表示されている状態で [ADD INSTRUMENT TRACK] ボタンを押すと、「プリセットをブラウズ」セクションの表示 / 非表示を切り替えることができます。

3. KX のカーソルボタンを使って使用したい VSTi にフォーカスを移動させ、[ENTER] ボタンを押して選択します。
ここでは「HALionOne」を選びましょう。
4. KX の [ENTER] ボタンを押すと、「インストールトラックを追加」ダイアログが閉じ、インストールトラックが作られます。
「インストールトラックを追加」ダイアログの [OK] をクリックしても、同様の結果が得られます。

VSTi ウィンドウを開いてインストールメントを選ぶ

プロジェクトウィンドウなどでインストールメントトラックか、出力先が VSTi である MIDI トラックが選ばれていれば、KX からボタン操作 1 つで簡単に VSTi ウィンドウの開閉が行なえます。

1. KX のカーソルボタンなどを使って、VSTi ウィンドウを表示させたいインストールメントトラックを選択します。



2. VSTi ウィンドウを開くには、[VSTi WINDOW] ボタンを押します。
手順 1 で選択したトラックの VSTi ウィンドウが表示されます。



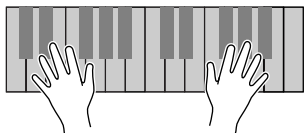
3. CUBASE FUNCTION[A] ボタンを 2 回押して、下記画面 (プリセットブラウザー) を表示させます。



4. KX のカーソルボタンと CUBASE FUNCTION[B] ボタンを使ってインストールメントのカテゴリーを選びます。
カーソルボタン [▲][▼] で Category の「Drum&Perc」にフォーカスを移動して、CUBASE FUNCTION [B] ボタンで選択しましょう。
カーソルボタン [▶] で Sub Category にフォーカスを移動します。カーソルボタン [▲][▼] で「DrumSet GM」にフォーカスを移動して、CUBASE FUNCTION[B] ボタンで選択しましょう。
5. PROGRAM[DEC][INC] ボタンを使ってインストールメントを選びます。
PROGRAM[DEC][INC] ボタンでサーチ & ビューアーの中の「RockSt2」を選びましょう。

鍵盤を弾いてみよう

KX 本体の鍵盤を弾いて、前ページ手順 4 で選んだ「RockSt2」の音を鳴らしてみましょう。コンピューター上の HALionOne のドラム音が鳴ります。弾く鍵盤によって違うドラム楽器音が鳴りますので、自分でリズムパターンを演奏してみましょう。



NOTE

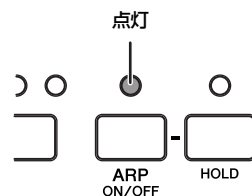
[OCTAVE] ボタンを押すことにより、同じ鍵盤でも違うドラム楽器音を鳴らすことができます。自分の鳴らしたいドラム楽器音を鍵盤で鳴らせるよう、オクターブをシフトさせてみてください。オクターブ設定を元に戻したい場合は、2つの [OCTAVE] ボタンを同時に押してください。[OCTAVE] ボタンについての詳細は、27ページをご覧ください。

アルペジオを鳴らしてみよう

自分で鍵盤を弾くのが難しければ、アルペジオ機能を使ってリズムパターンを自動演奏させるのもよいでしょう。アルペジオは、押さえた鍵盤を元にしてさまざまなフレーズやリズムパターンを再生する機能です。押さえた鍵盤（コード）にあわせてアルペジオを再生したり、指一本でリズムパターンを再生したりできます。ここでは、前ページ手順 4 で選択した「RockSt2」を使って、ドラム / パーカッションによるリズムパターンを鳴らしてみます。

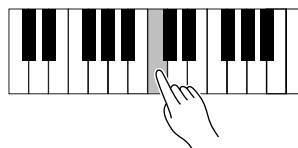
指 1 本でアルペジオを鳴らす

1. [ARP ON/OFF] ボタンを押して、ボタン上の LED ランプを点灯させます。



2. 鍵盤を一つだけ押さえます。

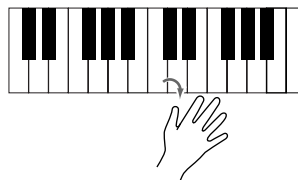
鍵盤を指 1 本で押さえただけでリズムパターン（アルペジオ）が鳴ります。



NOTE

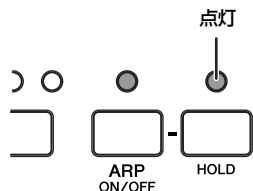
アルペジオは、KX 内部で設定されたテンポ（36 ページ）で演奏したり、コンピューター上の DAW ソフトウェアのテンポに合わせて演奏したりできます。詳細は 32 ページをご参照ください。

3. 鍵盤から指を離すとリズムパターン（アルペジオ）は停止します。



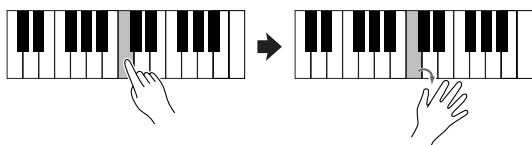
アルペジオを鳴らしたままにする

4. [HOLD] ボタンを押して LED ランプを点灯させます。

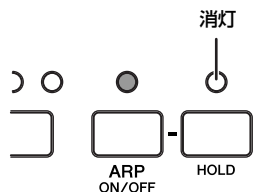


5. 鍵盤を一つだけ押さえます。

鍵盤を指 1 本で押さえただけでリズムパターン (アルペジオ) が鳴ります。[HOLD] ボタンをオンにしておくと、鍵盤から指を離してもリズムパターン (アルペジオ) は停止しないので、アルペジオを鳴らしたまま、ほかの操作ができます。



6. [HOLD] ボタンを押して LED ランプを消灯させると、アルペジオは停止します。

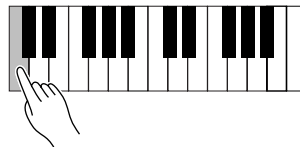


NOTE

SUSTAIN 端子にフットスイッチを接続している場合 (16 ページ)、[HOLD] ボタンをオフにしても、フットスイッチを踏んでいる間は、鍵盤から指を離してもアルペジオは鳴り続けます。この場合、フットスイッチから足を離すことでアルペジオ再生を止めます。

いろいろな鍵盤を押さえてみよう

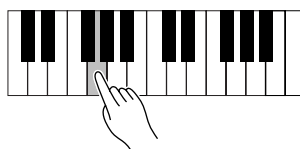
7. 最低音 (左端にある C) の鍵盤を押さえます。リズムパターン (アルペジオ) が鳴ります。



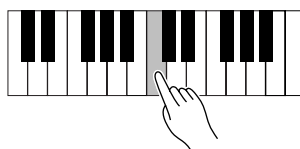
NOTE

KX8 では最低音から 3 度上にある C の鍵盤を弾いてください。

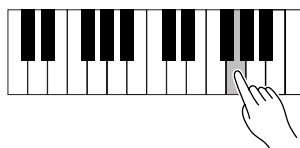
8. 続いて、手順 7 で押さえた鍵盤から 5 度上にある G の鍵盤を弾いてみます。違うリズムパターンが鳴ります。



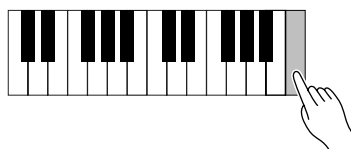
9. 続いて、手順 8 で押さえた鍵盤から 4 度上の C の鍵盤を押さえます。前 2 つとは違うリズムパターンが鳴ります。



10. 続いて、手順 9 で押さえた鍵盤から 5 度上の G の鍵盤を押さえます。前 3 つとは違うリズムパターンが鳴ります。



11. 最後に、手順 11 で押さえた鍵盤から 4 度上の C の鍵盤 (KX25 では最高音の鍵盤) を押さえます。手順 7 で鳴らしたのと同じリズムパターンが鳴ります。



以上の操作により、アルペジオタイプを変更していないにもかかわらず、押さえる鍵盤によって異なるリズムパターンが鳴ることがわかります。これは、カテゴリー

「DrPc」(KX の初期設定で選択されているカテゴリ) のアルペジオタイプには、それぞれ異なる 4 トラックにリズムパターンが登録されており、鍵域によって違うトラックのリズムパターンが呼び出されるようになっているからです。

C から数えて 6 鍵ずつの区切りで、順次 4 種類のリズムパターンが呼び出されます。たとえば KX61 の場合は、最低鍵盤音の C1 から F1 までがトラック 1 のリズムパターン、F#1 ~ B1 でトラック 2 のリズムパターン、C2 ~ F2 でトラック 3 のリズムパターン、F#2 ~ B2 でトラック 4 のリズムパターン、C3 ~ F3 で再びトラック 1 のリズムパターンという順番で繰り返し割り当てられています。

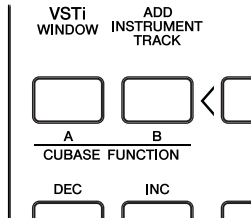
NOTE 

KX の鍵盤には C3、D3、E3 のように、オクターブの高さによって鍵盤名(ノートネーム)が付けられています。また、このオクターブ設定は [OCTAVE] ボタンによりシフトさせることができます。詳細は 27 ページをご覧ください。

CUBASE FUNCTION ボタンを使う

CUBASE FUNCTION ボタンの機能

Cubase を使用している場合、CUBASE FUNCTION [A][B] ボタンにはプリセット ブラウザーの操作に関する機能が割り振られています。



CUBASE FUNCTION[A]:

プリセットブラウザーを表示します。プリセットブラウザーが表示されている状態で押すと、フィルター部（プリセットブラウザーの左側半分）の表示 / 非表示が切り替わります。

CUBASE FUNCTION[B]:

プリセットブラウザーのフィルター部にある項目を選択 / 解除します。現在選択されていない項目にカーソルボタンでフォーカスを移動してこのボタンを押すと、その項目が選択されます。現在選択されている項目にカーソルボタンでフォーカスを移動してこのボタンを押すと、その項目が解除されます。

CUBASE FUNCTION[A]+[B] :

二つのボタンを同時に押すと、プリセット ブラウザーのフィルターがリセットされます。

CUBASE FUNCTION [A][B] ボタンを押したときの動作は、目的に合わせて変更できます。詳しくは次の項目をご参照ください。

NOTE Cubase 以外の DAW ソフトウェア使用時のこれらのボタンの機能については、34 ページをご参照ください。

CUBASE FUNCTION ボタンの機能を変更する

CUBASE FUNCTION [A][B] ボタンなどの Cubase 用ボタンは、必要に応じて割り当てられた機能を変更できます。設定方法は次のとおりです。

1. Cubase の [デバイス] メニューから [デバイス設定] を選択します。

[デバイス設定] ダイアログが表示されます。

2. デバイス欄の「Yamaha KX」をクリックします。ダイアログの右側に KX の各ボタンに割り当てられたコマンドが表示されます。



「Yamaha KX」をクリック

割り当てを変更可能なボタンは次の通りです。

- ・ [ADD INSTRUMENT TRACK] ボタン
- ・ [VSTi WINDOW] ボタン
- ・ CUBASE FUNCTION[A][B] ボタン
- ・ PROGRAM[DEC][INC] ボタン
- ・ [ASSIGN 1][ASSIGN 2] ボタン
- ・ [MUTE] ボタン
- ・ [SOLO] ボタン

3. 割り当てを変更したいボタンのカテゴリ欄をクリックし、表示されたポップアップメニューから割り当てたい機能のカテゴリを選択します。

選択したカテゴリに応じて、次の操作を行ないます。

■ 複数のコマンドを含むカテゴリを選択した場合
コマンド欄をクリックし、表示されたポップアップメニューからボタンに割り当てる機能を選択します。

■ 単体のコマンドを選択した場合
カテゴリを選択した時点で設定は完了です。

4. 設定が終わったら、[OK] ボタンをクリックします。

[デバイス設定] ダイアログが閉じます。

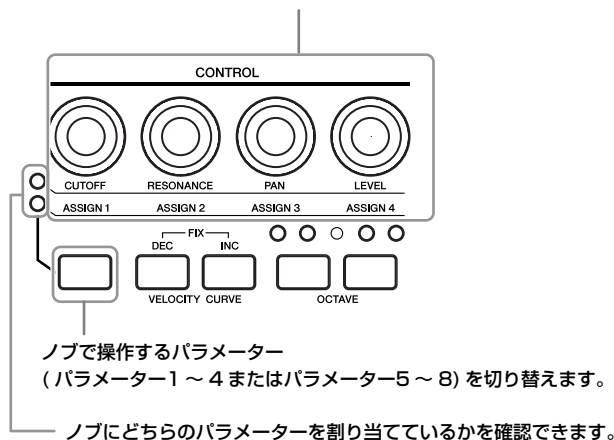
NOTE 設定を元に戻すときは、コマンド欄の上部にある [リセット] をクリックしたあと、ダイアログの下部にある [リセット] ボタンをクリックしてください。

CONTROL ノブを使って VSTi を操作する

KX パネル上の CONTROL ノブを操作することにより、コンピューター側で使用中の VSTi の音色コントロールなどができます。あらかじめ 30 種類の VSTi 操作用のテンプレート (コントロールテンプレート) が準備されているので、このテンプレートを切り替えることによって、使用する VSTi に最適な機能がノブに割り当てられます。Cubase をお使いの場合、コントロールテンプレートの切り替えは、コンピューターの DAW 側でインストゥルメントトラックか、出力先が VSTi である MIDI トラックを選択したり、トラックに割り当てた VSTi を変更するだけで自動的に行なわれます。したがって、KX 側でコントロールテンプレートの切り替え操作をすることなくノブ操作が続けられます。

VSTi のパラメーターを選択します。

ノブ切り替えボタンで割り当てを切り替えれば、8 つのパラメーターを操作できます。



ディスプレイにトップ画面が表示されているときは、ノブで操作できるパラメーターの名前が表示されます。ノブを操作すると、パラメーターの設定値が一定時間表示され、元の表示に戻ります。また、[EXIT] ボタンを押すことによりパラメーターの表示が自動的にスクロールされ、文字数が長くて表示しきれないパラメーター名称を確認できます。

Cubase のオートメーション機能を使えば、ノブの操作をインストゥルメントトラックに記録できます。オートメーション機能の使い方については、Cubase の取扱説明書をご参照ください。

NOTE

- ・ 対応しているコントロールテンプレートについては、「コントロールテンプレートリスト」(45 ページ) をご参照ください。
- ・ 設定値の表示時間を変更することもできます。設定方法については「KX の各種設定を変更する」(36 ページ) をご参照ください。
- ・ Cubase 以外の DAW ソフトウェアをご使用の場合は、KX 側でコントロールテンプレートの切り替えをする必要があります。詳細は、28 ページをご参照ください。

CONTROL ノブの機能割り当ての変更について

VST3 対応の VSTi の場合、下記操作でノブの機能割り当てを変更できます。

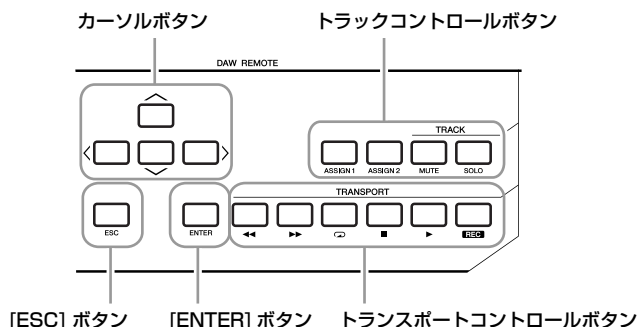
1. コンピューター上で、ノブを割り当てたい VSTi の操作子にマウスカーソルを合わせます。
2. KX 上で、ノブ切り替えボタンを押しながら、割り当てたいノブを回します。
KX のディスプレイに「(Learning knob.)」と表示されます。
3. KX 上で、ノブ切り替えボタンから手を離します。
ノブの機能割り当てが切り替わります。

NOTE

VST3 対応でない VSTi の場合、ノブの機能割り当ては KX Editor で変更してください。

トランスポート / トラックを操作する

再生や録音などのトランスポート操作、ミュート / ソロなどのトラック操作は、KX のボタンを使って操作できます。



カーソルボタン

コンピューターのカーソルキーと同じ操作が行なえます。

[ENTER] ボタン

Cubase 上で選択された項目の実行や決定など、コンピューターの [Enter](return) キーと同じ操作が行なえます。

[ESC] ボタン

操作のキャンセルなど、コンピューターの [Esc](esc) キーと同じ操作が行なえます。

トラックコントロールボタン

MIDI クオンタイズなどのコマンドを実行したり、操作対象として選ばれているトラックのミュート / ソロの切り替え操作を行ないます。

[ASSIGN 1] ボタン..... MIDI クオンタイズコマンドを実行します。

[ASSIGN 2] ボタン..... Delete コマンドを実行します。

[MUTE] ボタン..... 選択されたトラックのミュートオン / オフを切り替えます。

[SOLO] ボタン 選択されたトラックのソロオン / オフを切り替えます。

NOTE

- ・トラックコントロールボタンに割り当てられた機能は、目的に応じて変更できます。詳しくは「CUBASE FUNCTION ボタンの機能を変更する」(23 ページ)をご参照ください。
- ・Cubase 以外の DAW ソフトウェアを使う場合は、DAW Select パラメーターの設定値を変更してください。詳細は、34 ページをご参照ください。

トランスポートコントロールボタン

録音 / 再生などのトランスポート操作を行ないます。

[◀◀] ボタン..... 巻き戻し

[▶▶] ボタン..... 早送り

[🔄] ボタン..... リPEAT オン / オフ

[■] ボタン 停止

[▶] ボタン 再生

[REC] ボタン..... 録音

KX の基本操作

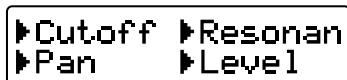
ここでは、鍵盤で演奏する音域の変更、ディスプレイに表示される画面など、KX の基本操作を説明します。

ディスプレイに表示される画面

KX のディスプレイに表示される画面は、ボタンやノブの操作に応じて切り替わります。

トップ画面

電源をオンにした直後に表示される画面です。CONTROL ノブで操作可能なパラメーターが表示されます。

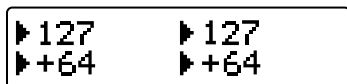


NOTE

電源がオンになった直後に下記画面が表示される場合があります。これは KX と USB 接続されたコンピューター上で Cubase と VSTi が起動されていないことを示しています。Cubase を使うのであれば Cubase を起動し、VSTi を設定してください。この表示が消え、上記トップ画面が表示されます。Cubase 以外の DAW を使うのであれば、DAW Select パラメーター(37 ページ)で Cubase 4 または Cubase AI 以外を選択してください。



CONTROL ノブや SELECT [▲][▼] ボタンを操作すると、ノブの設定値が表示されます。しばらくすると元の表示に戻ります。



NOTE

ノブ操作時などに一時的表示される数値の表示時間を変更したい場合は「KX の各種設定を変更する」(36 ページ)をご参照ください。

アルペジオエディット画面

[ARP EDIT] ボタンを押すと表示される画面です。このときボタン上の LED が点灯します。アルペジオで再生するアルペジオタイプの選択や、再生方法を設定します。[EXIT] ボタンを押すと、トップ画面に戻ります。



コントロールテンプレート選択画面

[CONTROL TEMPLATE] ボタンを押すと表示される画面です。このときボタン上の LED が点灯します。CONTROL ノブに割り当てるテンプレートを選択します。[EXIT] ボタンを押すと、トップ画面に戻ります。



ユーティリティー画面

[UTILITY] ボタンを押すと表示される画面です。このときボタン上の LED が点灯します。KX の各種設定を行ないます。[EXIT] ボタンを押すと、トップ画面に戻ります。

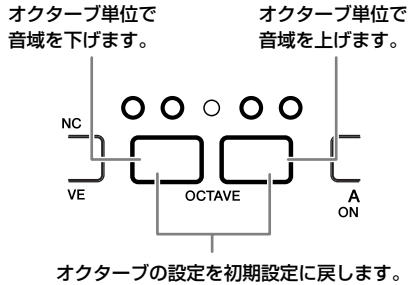


これらの画面では、SELECT [▲][▼] ボタンを使って表示するパラメーターを切り替えることができます。設定値を変更可能なパラメーターには、右側に「▶」が点滅表示されます。



オクターブを切り替える

鍵盤で演奏する音域は、OCTAVE ボタンを使って上下それぞれ 3 オクターブまでシフトできます。両方のボタンを同時に押しと、オクターブの設定が初期設定に戻ります。



現在のオクターブ設定はボタン上の LED で確認できます。

● ○ ○ ○ ○ (点滅)	- 3 オクターブ
● ○ ○ ○ ○	- 2 オクターブ
○ ● ○ ○ ○	- 1 オクターブ
○ ○ ○ ○ ○	初期設定 (標準設定) = 0
○ ○ ○ ● ○	+ 1 オクターブ
○ ○ ○ ○ ●	+ 2 オクターブ
○ ○ ○ ○ ● (点滅)	+ 3 オクターブ

NOTE OCTAVE ボタンの LED は、点灯 / 消灯の表示を反転させることも可能です。表示を切り替える方法については、「KX の各種設定を変更する」(36 ページ) をご参照ください。

鍵盤各キーの名称(ノートネーム)について

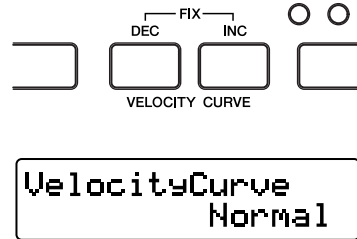
KX の各鍵盤には、下記のように音域に合わせてノートネームが割り当てられています。

機種	範囲
KX25	C2 ~ C4
KX49	C2 ~ C6
KX61	C1 ~ C6
KX8	A-1 ~ C7

以上のノートネームの割り当ては OCTAVE ボタンによる設定が初期設定の場合です。OCTAVE ボタンの設定により、上記の割り当てがオクターブ単位でシフトされます。

ベロシティーカーブを切り替える

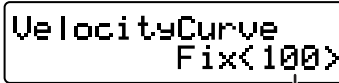
鍵盤演奏時のベロシティーの付きかた(ベロシティーカーブ)は、好みに合わせて調節できます。ベロシティーカーブの調節には VELOCITY CURVE [DEC][INC] ボタンを使用します。いずれかのボタンを押すと、ベロシティーカーブが切り替わります。



ベロシティーカーブの設定は、次の 5 種類があります。

Soft2	キータッチが弱くても大きなベロシティーが出やすいカーブです。同じキータッチでも Soft1 より大きいベロシティーの値になります。
Soft1	キータッチが弱くても大きなベロシティーが出やすいカーブです。
Normal	標準的なカーブです。キータッチに比例してベロシティーの値が変化します。
Hard1	キータッチが強くても大きなベロシティーが出にくいカーブです。
Hard2	キータッチが強い場合は Normal のカーブに近く、それ以外のときは大きなベロシティーが出にくいカーブです。HALionOne の演奏に適しています。

VELOCITY CURVE [DEC][INC] ボタンの両方を同時に押しと、表示が「Fix」に変わり、鍵盤を押さえる強弱に関係なく画面に表示されるベロシティーの値で音が鳴ります。



ベロシティーの値

ベロシティーの値は、VELOCITY CURVE [DEC][INC] ボタンのいずれか一方だけを押すことにより、変更できます。もう一度 VELOCITY CURVE [DEC][INC] ボタンの両方を同時に押しと、Fix の設定から抜けます。

NOTE ユーティリティ画面を表示させると、ベロシティーカーブや Fix 選択時のベロシティーの値をゆっくり見ながら設定できます。設定方法については「KX の各種設定を変更する」(36 ページ) をご参照ください。

コントロールテンプレート

KXには、あらかじめ30種類のVSTi操作用のテンプレート(コントロールテンプレート)が準備されており、このテンプレートを切り替えることによって、使用するVSTiに最適な機能がCONTROLノブに割り当てられます。

Cubaseをお使いの場合、コントロールテンプレートの切り替えは、コンピューターのDAW側でインストゥルメントトラックを選択したり、トラックに割り当てたVSTiを変更するだけで自動的に行なわれます。したがって、KX側でわざわざコントロールテンプレートの切り替え操作をする必要はありません。

それに対して、Cubase以外のDAWをお使いの場合は、DAW側の操作でコントロールテンプレートが自動的に切り替わることはありませんので、KXのパネル操作でお使いのVSTiに合ったコントロールテンプレートを選んでください。

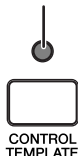
NOTE 専用のエディター「KX Editor」(6ページ)を使えば、コントロールテンプレートを詳細に編集できます。

コントロールテンプレートを選択する

KX内蔵のコントロールテンプレートは手動で選択することも可能です。

1. **[CONTROL TEMPLATE]** ボタンを押します。
ボタン上のLEDが点灯し、ディスプレイにコントロールテンプレート選択画面が表示されます。

点灯



この状態で、コントロールテンプレートが選択できます。

NOTE [CONTROL TEMPLATE] ボタンを押してもコントロールテンプレート選択画面が表示されない場合は、[CONTROL TEMPLATE] ボタンをもう一度押すか、SELECT [▲] ボタンを押して上記表示に切り替えてください。

2. **DATA [DEC][INC]** ボタンを使って、使用したいコントロールテンプレートを選択します。



NOTE [INC] ボタンを押すたびに値が1ずつ増加し、[DEC] ボタンを押すたびに値が1ずつ減少します。どちらのボタンも押し続けることによって値が連続的に変化します。

設定レンジの大きいパラメーター値を変更している場合は、[INC] ボタンを押しながら [DEC] ボタンを押すことで、値を10増加させることができます。逆に [DEC] ボタンを押しながら [INC] ボタンを押すことで、値を10減らすことができます。

3. **ディスプレイの表示をトップ画面(電源オン直後に表示される画面)に戻すには、[EXIT] ボタンを押します。**

コントロールテンプレートを編集する

CONTROL ノブ操作で出力されるメッセージの種類を変更する

CONTROL ノブ操作時に送信される MIDI メッセージには、「Remote(リモート)」と「CC(コントロールチェンジ)」の 2 種類があり、KnobOutSelect パラメーターを使って切り替えることができます。


Remote(Cubase 専用のリモートコントロール)

Cubase に対してのみ有効な専用メッセージを使って、VSTi パラメーターを操作します。CONTROL ノブの操作情報は、リモートコントロール専用の MIDI ポート (USB-MIDI ポート 2) を通じてコンピューターに送信されます。鍵盤などからの演奏情報と違うポートが使われるので、演奏や曲のサウンドに影響を与えずにリモートコントロールができます。


CC(コントロールチェンジ)

MIDI コントロールチェンジメッセージを使って VSTi パラメーターを操作します。

CONTROL ノブの操作情報は、鍵盤などの演奏情報と同じ MIDI ポート (USB-MIDI ポート 1) を通じてコンピューターに送信されます。Cubase 以外の DAW をお使いの場合は、この設定だけが使えます。

- NOTE**  ・ Cubase をお使いの場合、基本的には初期設定 (Remote) のまま変更する必要はありませんが、お使いの VSTi によっては CC(コントロールチェンジ) に変更した方がよい場合もあります。
- ・ KnobOutSelect パラメーターを「Remote(リモート)」に設定していても、DAW Select パラメーター(37 ページ)を「Cubase」「Cubase AI」以外に設定すると、自動的に (CC) に切り替わります。

1. **[CONTROL TEMPLATE] ボタンを押します。**
ボタン上の LED が点灯し、ディスプレイにコントロールテンプレート選択画面が表示されます。

- NOTE**  [CONTROL TEMPLATE] ボタンを押してもコントロールテンプレート選択画面が表示されない場合は、[CONTROL TEMPLATE] ボタンをもう一度押すか、SELECT [▲] ボタンを押して上記表示に切り替えてください。

2. **DATA [DEC][INC] ボタンを使って、変更したいコントロールテンプレートを選択します。**

3. **SELECT [▼] ボタンを押して、ディスプレイに KnobOutSelect と表示させます。**

KnobOutSelect
▶ Remote

4. **DATA [DEC][INC] ボタンを使って、CONTROL ノブ操作で出力されるメッセージの種類を変更します。**


CCコントロールチェンジ

Remote.....Cubase 専用のリモートコントロール


5. **ディスプレイの表示をトップ画面に戻すには、[EXIT] ボタンを押します。**

CONTROL ノブ操作で出力される コントロールチェンジを変更する

CONTROL ノブに割り当てられているコントロールチェンジナンバーを、コントロールテンプレートの初期設定から変更することができます。


NOTE  ここでの設定は自動的に KX 本体メモリーに保存されます。バックアップをとりたい場合は、専用ソフトウェア (KX Editor) を使ってコンピューターに保存できます。

1. **[CONTROL TEMPLATE] ボタンを押します。**
ボタン上の LED が点灯し、ディスプレイにコントロールテンプレート選択画面が表示されます。


NOTE  [CONTROL TEMPLATE] ボタンを押してもコントロールテンプレート選択画面が表示されない場合は、[CONTROL TEMPLATE] ボタンをもう一度押すか、SELECT [▲] ボタンを押して上記表示に切り替えてください。

2. **DATA [DEC][INC] ボタンを使って、変更したいコントロールテンプレートを選択します。**
3. **SELECT [▲][▼] ボタンを使って、割り当てを変更したい CONTROL ノブを選択します。**

Assign1	CC▶111
Assign2	CC:112

NOTE  パラメーター操作に利用可能なコントロールチェンジは、VSTi ごとに異なります。使用可能なコントロールチェンジについては、VSTi の取扱説明書をご参照ください。

4. **DATA [DEC][INC] ボタンを使って、選択した CONTROL ノブのコントロールチェンジナンバーを変更します。**

NOTE  KX のディスプレイでは、コントロールチェンジナンバーが 10 進数で表示されます。VSTi によっては取扱説明書に 16 進数表記のコントロールチェンジナンバーが記載されていることがありますのでご注意ください。

5. **ディスプレイの表示をトップ画面に戻すには、[EXIT] ボタンを押します。**

アルペジオ

KXには、押さえた鍵盤を元にさまざまなフレーズやリズムパターンを再生するアルペジオ機能が搭載されています。全部で342種類のアルペジオがKXに内蔵されていますが、そのうち66個のドラム/パーカッション(DrPc)用アルペジオタイプには、それぞれ4個ずつのフレーズ(リズムパターン)が登録されているので、全部で $66 \times 4 + 276 = 540$ 個のアルペジオフレーズ/リズムパターンを呼び出せることとなります。アルペジオの再生方法については20ページで説明したので、ここではアルペジオタイプの選択方法や編集方法について、説明します。

アルペジオタイプを選択する

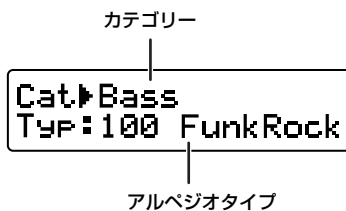
KXには342種類のアルペジオタイプが内蔵されています。目的に応じてアルペジオタイプを選択し、鍵盤を押さえるだけで、簡単にアルペジオが再生できます。

NOTE アルペジオは、KX内部のテンポで演奏したり、DAWソフトウェアのテンポに合わせて演奏したりできます。詳しくは32ページをご参照ください。

重要

各アルペジオタイプは、特定の楽器を想定して作られています。46ページのアルペジオタイプリストに、各タイプを鳴らすのに適切な楽器が「Instrument Type」として記載されていますので、VSTiや外部MIDI音源の音色(インストゥルメント)を選択するときの参考にしてください。

1. **[ARP EDIT] ボタンを押します。**
アルペジオエディット画面が表示されます。
2. **SELECT [▲] ボタンを使って Cat 欄を選択します。**



KXにはカテゴリーごとに複数のアルペジオタイプ(46ページ)が内蔵されています。最初にカテゴリーを選択すれば、目的のアルペジオタイプを素早く選択できます。

3. **DATA [DEC][INC] ボタンを使ってカテゴリーを選択します。**
4. **SELECT [▼] ボタンを使って Typ 欄を選択します。**

5. **DATA [DEC][INC] ボタンを使ってアルペジオタイプを選択します。**

- NOTE**
- ・アルペジオの再生中にアルペジオタイプを切り替えた場合、次のアルペジオに切り替わるまでしばらく時間がかかることがあります。
 - ・アルペジオタイプの選択中でも、CONTROLノブやピッチベンド、モジュレーションホイールの操作は可能です。
 - ・ボタンを押し続けた場合は設定値の変化が早くなります。
 - ・片方のボタンを押しているときにもう片方のボタンを押さえたときは、設定値が10ずつ変化します。

6. **ディスプレイの表示をトップ画面に戻すには、[EXIT] ボタンを押します。**

アルペジオカテゴリー

本体に搭載されているアルペジオタイプは、下記のとおりさまざまな種類のカテゴリーに分類されています。カテゴリーは楽器を軸にして分類されています。

DrPc	Drum / Percussion
CPrc	Chromatic Percussion
Bass	Bass
Seq	Synth Seq
ChSq	Chord Seq
HySq	Hybrid Seq
ApKb	Acoustic Piano / Keyboard
Orgn	Organ
GtPl	Guitar / Plucked
Strn	Strings
Bras	Brass
RdPp	Reed / Pipe
Lead	Synth Lead

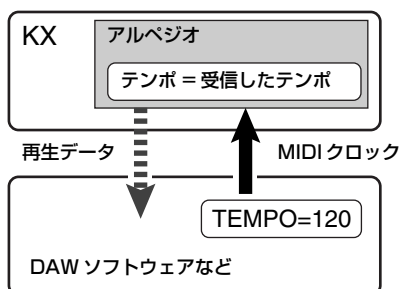
アルペジオの再生テンポについて

アルペジオの再生テンポを決めるクロックについては、下記動作となるよう初期設定 (Sync = Auto... 36 ページ) されています。

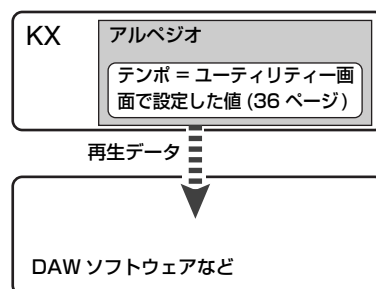
外部から MIDI クロックを受信しているとき : 受信した MIDI クロックのテンポでアルペジオが再生されます。

外部から MIDI クロックを受信していないとき : KX 内部で設定したテンポでアルペジオが再生されます。

外部から MIDI クロックを受信しているとき

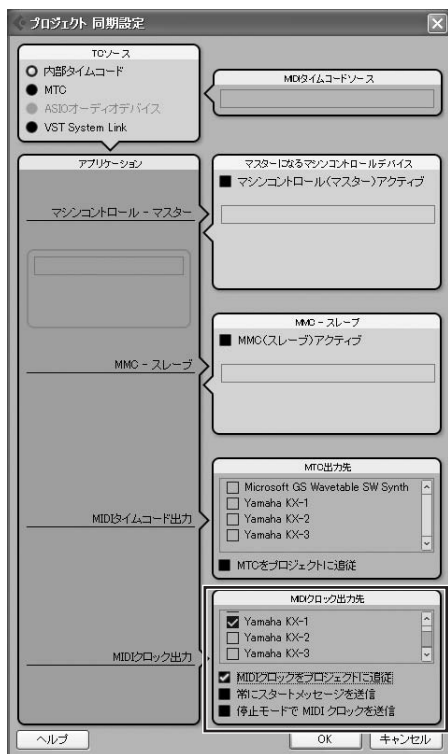


外部から MIDI クロックを受信していないとき



Cubase をお使いの場合は、下記手順に従って設定をしておけば、Cubase 上での再生 / 録音時に、MIDI クロックがコンピューターから KX に送信されます。

1. Cubase の [トランスポート] メニューから [プロジェクト同期設定] を選択し、プロジェクト同期設定ダイアログを表示します。



2. ダイアログ右下の「MIDI クロック出力先」欄の Yamaha KX-1 (Windows の場合) と「MIDI クロックをプロジェクトに追従」にチェックを入れます。

Mac をご利用の場合は、YAMAHA KX Port 1 にチェックを入れます。

NOTE KX では用途に応じた 3 つの USB MIDI ポートが用意されています。詳細は、18 ページをご覧ください。

3. [OK] をクリックしてプロジェクト同期設定ダイアログを閉じます。

NOTE

- ・ 「MIDI クロック出力先」欄にある「停止モードで MIDI クロックを送信」にチェックを入れない場合は Cubase から MIDI クロックを送信するために録音または再生を実行する必要があります。チェックを入れた場合は録音、再生以外の状態でも Cubase から MIDI クロックが送信されます。
- ・ Cubase 以外の DAW ソフトウェアや、外部 MIDI 機器からクロック情報を送信する方法については、お使いの DAW ソフトウェア / MIDI 機器の取扱説明書をご参照ください。
- ・ クロック情報の受信状態に関係なく、常に KX 内部のテンポでアルペジオを再生することも可能です。設定方法については「KX の各種設定を変更する」(36 ページ) をご参照ください。

アルペジオを編集する

アルペジオは、目的や好みに合わせて編集できます。たとえば、アルペジオにスイング感を加えたい場合や、一音ごとの長さ（ゲートタイム）を調節したいときなどに便利です。

1. [ARP EDIT] ボタンを押します。

ボタン上の LED が点灯し、アルペジオエディット画面が表示されます。

Cat: Bass
Typ: 100 FunkRock

2. SELECT [▲][▼] ボタンを使って、編集したい項目を選択します。

編集可能な項目は、アルペジオのパラメーター一覧をご参照ください。

3. DATA [DEC][INC] ボタンを使って、設定値を変更します。

NOTE

アルペジオ再生中でも編集ができます。変更内容はすぐに反映されるので、効果を確認しながら設定が行なえます。ただし、設定変更時に再生が適切に行なわれない場合もあります。その場合は、一度アルペジオ再生を止めて、再度鍵盤を押しなおしてください。

4. 好みの効果になったら、[EXIT] ボタンを押して、トップ画面に戻します。

NOTE

変更内容を初期状態に戻すには、ファクトリーセットを実行します。ファクトリーセットについては「KXの各種設定を変更する」(36 ページ)をご参照ください。

アルペジオのパラメーター一覧

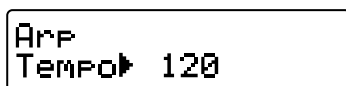
表示	設定値	説明
Cat	DrPc, CPrc, Bass, Seq, ChSq, HySq, ApKb, Orgn, GtPl, Strn, Bras, RdPp, Lead	使用するアルペジオのカテゴリを選択します。詳しくは、31 ページ、46 ページをご参照ください。
Typ	1 ~ 342	使用するアルペジオタイプを選択します。詳しくは、46 ページをご参照ください。
Variation	Orig, Up, Down, Alt1, Alt2, Rnd	アルペジオのバリエーションを選択します。Orig 以外の設定を選んだ場合、OctRange パラメーターを調節すると、アルペジオにオクターブ上下に変化をつけることができます。 Origあらかじめプログラムされたアルペジオを再生します。 Up上昇音型のアルペジオを再生します。 Down.....下降音型のアルペジオを再生します。 Alt1アルペジオの上昇 (Up) と下降 (Down) を繰り返します。折り返しの音 (最高音と最低音) は、1 回だけ鳴ります。たとえば、ド→ミ→ソ→ミ→ド→ミ→ソ→ミ... と鳴ります。 Alt2アルペジオの上昇 (Up) と下降 (Down) を繰り返します。折り返しの音 (最高音と最低音) は、2 回鳴らします。たとえば、ド→ミ→ソ→ソ→ミ→ド→ド→ミ→ソ→ソ→ミ... と鳴ります。 Rnd.....ランダムに分散します。
OctRange	-3 ~ 0 ~ +3	アルペジオのオクターブ設定を変更します。Variation = Orig に設定されている場合は、「-」と表示され設定できなくなります。
GateTime	0% ~ 200%	アルペジオのゲートタイムを調節します。
BeatStretch	50, 66, 75, 100, 133, 150, 200%	アルペジオの再生テンポを伸縮するパラメーターです。50%に設定した場合は、現在のテンポ設定の倍のテンポ (半分の再生時間) でアルペジオが再生されます。200%に設定した場合は現在の半分テンポ (倍の再生時間) でアルペジオが再生されます。
Swing	-120% ~ 0% ~ +120%	SwingValue パラメーターで選択した音符単位で裏拍の再生タイミングを前後にずらし、アルペジオにスイング感を加えます。
SwingValue	1/32(32分音符), 3/16(16分3連音符), 1/16(16分音符), 3/8(8分3連音符), 1/8(8分音符), 3/4(4分3連音符), 1/4(4分音符)	Swing パラメーターの基準となる単位を選択します。
VelMode	Orig, Thru	アルペジオ再生時のベロシティーの付きかたを設定します。 Origアルペジオタイプにあらかじめプログラムされたベロシティーの値で、再生が行なわれます。 Thru.....各鍵盤を押さえたときのベロシティーの値で、再生が行なわれます。

Cubase 以外の DAW ソフトウェアで使用するには

以下の設定をすれば、Cubase 以外の DAW ソフトウェアを KX からリモートコントロールできるようになります。DAW 側での設定については、各 DAW ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

1. [UTILITY] ボタンを押します。

ボタン上の LED が点灯し、ディスプレイにユーティリティー画面が表示されます。



2. SELECT [▲][▼] ボタンを使ってディスプレイに DAW Select と表示させます。



3. DATA [DEC][INC] ボタンを使って、次の中から使用する DAW ソフトウェアを選択します。

設定値	対応する DAW ソフトウェア
LogicPro	Apple Logic Pro 7.2
DigiPerf	MOTU Digital Performer 5.1
SONAR	Cakewalk Sonar 6

4. [EXIT] ボタンを押して、ディスプレイをトップ画面に戻します。

これで設定は完了です。

それぞれの DAW ソフトウェアでは、次のような操作が行なえます。

KX のボタン	対応する操作
[◀◀]	巻き戻し
[▶▶]	早送り
[↺]	リピート機能のオン / オフ
[■]	停止
[▶]	再生
REC	録音
CUBASE FUNCTION [A]	Mackie Control の F1 キーと同じ操作が行なえます。*
CUBASE FUNCTION [B]	Mackie Control の F2 キーと同じ操作が行なえます。*
[ASSIGN 1]	Mackie Control の F3 キーと同じ操作が行なえます。*
[ASSIGN 2]	Mackie Control の F4 キーと同じ操作が行なえます。*
[MUTE]	Mackie Control の F5 キーと同じ操作が行なえます。*
[SOLO]	Mackie Control の F6 キーと同じ操作が行なえます。*
[VSTi WINDOW]	Mackie Control の F7 キーと同じ操作が行なえます。*
[ADD INSTRUMENT TRACK]	Mackie Control の F8 キーと同じ操作が行なえます。*
PROGRAM [DEC]	現在の設定より番号の 1 つ小さいプログラムチェンジを送信します。
PROGRAM [INC]	現在の設定より番号の 1 つ大きいプログラムチェンジを送信します。
カーソルボタン	コンピューターのカーソルキーと同じ操作が行なえます。
[ENTER]	コンピューターの [Enter](return) キーと同じ操作が行なえます。
[ESC]	コンピューターの [Esc](esc) キーと同じ操作が行なえます。

* Mackie Control は、DAW コントローラーです。また、Mackie Control は Mackie Designs Inc. の商標です。

NOTE

DAW ソフトウェア側で、リモートコントロール用の設定を行なえば、CUBASE FUNCTION [A] ボタンから [ADD INSTRUMENT TRACK] ボタンの Cubase 用のボタンに機能を割り当てることができます。ボタンに機能を割り当てる方法については、DAW ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

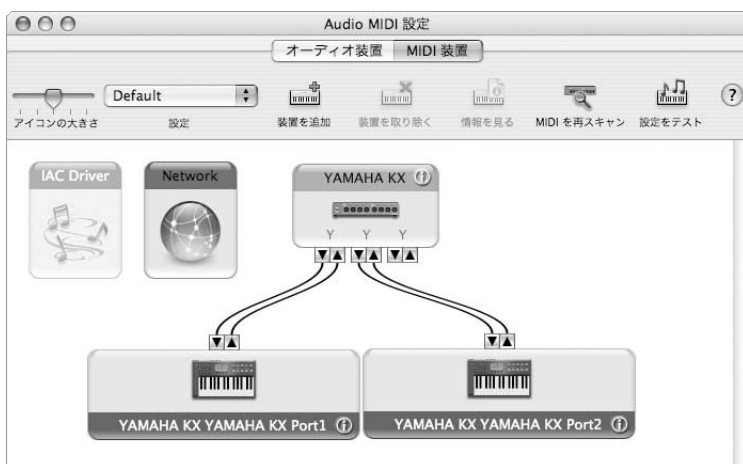
Digital Performer で KX を使用する場合 (Mac ご使用の場合)

「Audio MIDI 設定」で MIDI ポートの設定を行なう必要があります。

1. Mac OS X がインストールされているハードディスク (通常 Macintosh HD) の内の「アプリケーション」→「ユーティリティ」から「Audio MIDI 設定」をダブルクリックします。
2. 「オーディオ装置」画面が表示されている場合は、「MIDI 装置」ボタンをクリックして表示を「MIDI 装置」表示に切り替えます。
KX が Mac に認識されている場合は、KX を表すアイコン (YAMAHA KX) が表示されます。



3. 「装置を追加」アイコンをクリックして、「新しい外部装置」を 2 つ追加します。
それぞれの「新しい外部装置」が KX 内部の MIDI ポートに相当します。追加した「新しい外部装置」のプロパティで、それぞれの MIDI ポートが認識できるように装置名を入力しておけば、あとから MIDI ポートが認識しやすくなります。
4. KX アイコンの MIDI 入力 / 出力プラグと「新しい外部装置」の入出力プラグを接続します。
 - ・ USB-MIDI ポート 1 (左側のプラグ): YAMAHA KX YAMAHA KX Port1
 - ・ USB-MIDI ポート 2 (右側のプラグ): YAMAHA KX YAMAHA KX Port2
 それぞれのポートで MIDI 入出力が行えるよう、入出力両方のプラグを接続します。



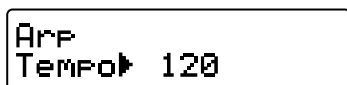
YAMAHA KX YAMAHA KX Port3 (右側のプラグ) は、専用エディター (KX Editor) が使用します。設定を行なう必要はありません。

KX の各種設定を変更する

アルペジオのテンポ設定、MIDI メッセージの送受信設定、ディスプレイ表示に関する設定など、KX の各種設定はユーティリティー画面で行なうことができます。

基本操作

1. [UTILITY] ボタンを押します。
ボタン上の LED が点灯し、ディスプレイにユーティリティー画面が表示されます。



2. SELECT [▲][▼] ボタンを使って、編集したい項目を選択します。
選択可能な項目については、以下の「ユーティリティー画面設定項目一覧」をご参照ください。

3. DATA [DEC][INC] ボタンを使って、設定値を変更します。

NOTE BulkTransmit, Factory Set を選択した場合は、DATA [INC] ボタンを使ってそれぞれの機能を実行できます。

4. 設定が終わったら、[EXIT] ボタンを押してトップ画面に戻します。
設定内容は再度変更するか、ファクトリーセットを行なうまで書き換えることはありません。

ユーティリティー画面設定項目一覧

表示	設定範囲	初期設定	説明
Tempo	10 ~ 300	120	アルペジオの再生テンポを BPM 単位で設定します。Sync パラメーター（下記）が「External」に設定されている場合、KX 内部のクロックを使わないので、ここでの設定は無効です。また、Sync パラメーターが「Auto」に設定されている場合で外部 MIDI 機器 / コンピューターから MIDI クロックを受信しているとき（ソングデータなどを再生しているとき）も、KX 内部のクロックを使わないので、ここでの設定は無効です。
Sync	Auto, Internal, External	Auto	アルペジオ再生テンポを、Tempo パラメーターによる設定値に追従させるか、外部 MIDI 機器 / コンピューターに同期させるか、を選択します。 Auto.....外部 MIDI 機器 / コンピューターから MIDI クロックを受信しているとき（ソングデータなどの再生中）は、受信した MIDI クロックに同期して再生テンポが決まります。MIDI クロックを受信していないときは、Tempo パラメーターでの設定値で再生されます。 Internal.....常に Tempo パラメーターで設定されたテンポ値で再生されます。 External.....常に受信した MIDI クロックに同期します。MIDI クロックを受信していないとき（外部 MIDI 機器 / コンピューターがソング再生していない場合など）は、アルペジオは再生されません。
Clock	Off, On	On	KX の内部クロックに従ってアルペジオを再生している場合（Tempo パラメーターの設定に従ってアルペジオを再生している場合）、クロックを KX から外部に MIDI 出力するかどうかを設定します。
VeloCurve	Soft2, Soft1, Normal, Hard1, Hard2, Fix	Normal	ベロシティーカーブを設定します。各設定を選んだときの動作については 27 ページをご参照ください。
VeloFix	1 ~ 127	100	VeloCurve パラメーターで Fix を選択したときのベロシティーの値を設定します。

表示	設定範囲	初期設定	説明
DAW Select	CubaseAI, Cubase, LogicPro, DigiPerf, SONAR	CubaseAI	KX と組み合わせて使用する DAW ソフトウェアを選択します。
ProgChgMode	PC+Remot, ProgChg, Remote	PC+Remot	PROGRAM [DEC][INC] ボタンを操作したときに送信される MIDI メッセージを選択します。 PC+Remot... プログラムチェンジ (PC) と Cubase 専用のリモートコントロールメッセージ (Remote) の両方が送信されます。 ProgChg.....プログラムチェンジだけが送信されます。 Remote.....Cubase 専用のリモートコントロールメッセージ (Remote) が送信されます。
MIDI Select	USB, MIDI	USB	USB TO HOST 端子を使って MIDI メッセージの送受信を行なうかどうかを選択します。 USBUSB TO HOST 端子を通じて、コンピュータと MIDI メッセージの送受信が行なわれます。MIDI Thru パラメーター (下記) が Off 以外に設定されている場合は、MIDI スルー機能に限り MIDI IN/MIDI OUT 端子も使われます。 MIDI.....MIDI IN/MIDI OUT 端子からのみ MIDI メッセージが送受信され、USB TO HOST 端子は使えなくなります。
MIDI Transmit Ch	1 ~ 16	1	ノートデータなどの演奏情報を送信する MIDI チャンネルを設定します。
MIDI Thru	Off, MIDI → MIDI, MIDI → USB, USB → MIDI	MIDI → USB	MIDI スルー機能の動作を設定します。各設定を選択したときの動作は、次の「MIDI スルーの設定を切り替える」をご参照ください。
Device Number	Off, 1 ~ 16, All	All	KX の MIDI デバイスナンバーを設定します。
Display Time	Off, 1.0sec, 1.5sec, 2.0sec, 3.0sec, 4.0sec, 5.0sec, Hold	1.5sec	一時的に表示される数値 (CONTROL ノブ操作時の設定値など) の表示時間を設定します。
Octave LED	Normal, Reverse	Normal	OCTAVE ボタンの LED の点灯 / 消灯状態を設定します。
BulkTransmit	—	—	KX のすべての設定内容を DAW ソフトウェアや外部 MIDI 機器にバルク送信します。DATA [INC] ボタンを押すと送信が実行されます。
Factory Set	—	—	KX を工場出荷時の状態に戻します。

KX を工場出荷時の状態に戻す (ファクトリーセット)

KX で行った各種設定は、必要に応じて工場出荷時の状態に戻すことができます (ファクトリーセット)。ファクトリーセットを実行するには、次の操作を行ないます。

! ファクトリーセットを実行すると、編集したアルペジオやコントロールテンプレートの内容は失われます。誤って必要な設定が失われないよう十分にご注意ください。

- [UTILITY] ボタンを押します。**
ボタン上の LED が点灯し、ディスプレイにユーティリティ画面が表示されます。
- SELECT [▼] ボタンを使って、ディスプレイに「Factory Set」と表示させます。**
- DATA [INC] ボタンを押します。**
ディスプレイに「Are you sure?」と表示されます。
- ファクトリーセットを実行するには、DATA [INC] ボタンを押します。**
ファクトリーセットが完了すると、手順 2 の画面が表示されます。

Factory Set
▶Yes→Inc

MIDI スルーの設定を切り替える

初期状態の KX では、MIDI IN 端子で受信した MIDI メッセージが、USB MIDI ポート 1 を経由して USB TO HOST 端子からコンピューターへ送信されます (MIDI IN → USB へのスルー出力)。必要であれば設定を変更して、MIDI IN 端子で受信した MIDI メッセージを MIDI OUT 端子から送信 (MIDI IN → MIDI OUT へのスルー出力) したりコンピューターから USB MIDI ポート 1 経由で受信した MIDI メッセージを MIDI OUT 端子から送信 (USB → MIDI OUT へのスルー出力) したりできます。

1. [UTILITY] ボタンを押します。

ボタン上の LED が点灯し、ユーティリティ画面が表示されます。

2. SELECT [▲][▼] ボタンを使って、ディスプレイに MIDI Thru と表示させます。

MIDI Thru
▶ MIDI → USB

3. DATA [DEC][INC] ボタンを使って、次の中から MIDI スルーの設定を選択します。

Off	MIDI スルー機能をオフにします。
MIDI → MIDI	MIDI IN 端子で受信した MIDI メッセージを、そのまま MIDI OUT 端子から送信します。MIDI Select パラメーターが USB に設定されていても、この設定は有効です。
MIDI → USB	MIDI IN 端子で受信した MIDI メッセージを、そのまま USB MIDI ポート 1 経由で USB TO HOST 端子からコンピューターへ送信します。
USB → MIDI	コンピューターから USB TO HOST 端子で受信した USB MIDI ポート 1 の MIDI メッセージを、そのまま MIDI OUT 端子から送信します。

NOTE 「MIDI → USB」および「USB → MIDI」は、MIDI Select パラメーター (37 ページ) が USB に設定されている場合にのみ選択できます。

4. 設定が終わったら、[EXIT] ボタンを押してトップ画面に戻します。

NOTE

KX を、MIDI 機器とコンピューターとを接続するための MIDI インターフェースとして使用することはできません。MIDI Thru = USB → MIDI の場合はコンピューターから MIDI 機器へ、MIDI Thru = MIDI → USB の場合は MIDI 機器からコンピューターへ、それぞれ MIDI メッセージを送信できますが、同時に双方向で MIDI メッセージをやり取りすることはできません。

トラブルシューティング (困ったときは)

● 電源が入らない

- ・ コンピューターと接続していない場合、電源アダプターは正しく接続されていますか？
- ・ 電源アダプターを使っていない場合、コンピューターと KX が USB ケーブルで正しく接続されていますか？
- ・ 正常な USB ケーブルを使っていますか？ USB ケーブルが断線などで劣化している場合は、正常な USB ケーブルに交換してください。
- ・ コンピューターと KX を、バスパワータイプの USB ハブ経由で接続していませんか。USB ハブを経由しなければいけない場合は、セルフパワータイプの USB ハブを使うか、KX に電源アダプターを接続してください。

● コンピューターと KX が通信できない

- ・ コンピューターと KX が、USB ケーブルで正しく接続されていますか？
- ・ USB-MIDI ドライバーは正しくインストールされていますか？
- ・ MIDI Select の設定が「MIDI」になっていませんか。コンピューターと連携して使う場合は「USB」に設定してください。

● コンピューター上の DAW ソフトウェアをリモートコントロールできない

- ・ ユーティリティ画面の DAW Select パラメーターで設定された DAW ソフトウェアと、実際にコンピューター上でお使いの DAW ソフトウェアは合っていますか？
- ・ DAW ソフトウェアのリモートコントロールの設定は正しいですか。
各 DAW ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

● KX を鍵盤演奏しても、USB ケーブルで接続したコンピューター上の VSTi などソフトウェアシンセサイザーの音が鳴らない

- ・ コンピューターと KX が、USB ケーブルで正しく接続されていますか？
- ・ DAW ソフトウェア上での各トラックのボリューム設定、ミュート / ソロ設定、コンピューター自体のボリューム設定、オーディオインターフェースをお使いの場合はオーディオインターフェースの設定は適切にされていますか？
- ・ MIDI Select パラメーターの設定が「MIDI」になっていませんか。コンピューター上のソフトウェアシンセサイザーを鳴らしたい場合は、MIDI Select を「USB」に設定してください。

- ・ 使用している VSTi のコントロールテンプレートが KX に入っていますか。KX に入っていない場合はファクトリーセット (37 ページ) を実施して内蔵テンプレートを初期化して戻すか、KX Editor で編集をしてください。

● KX を鍵盤演奏しても、MIDI ケーブルで接続した外部 MIDI 音源モジュールが鳴らない

- ・ MIDI ケーブルが正しく接続されていますか？
- ・ MIDI Select パラメーターの設定が「USB」になっていませんか。MIDI 接続した外部 MIDI 音源モジュールなどを鳴らしたい場合は、MIDI Select を「MIDI」に設定してください。

● 鍵盤を弾いてもアルペジオが鳴らない

- ・ [ARP ON/OFF] ボタンの LED ランプが点灯していますか。
- ・ [UTILITY] → [Sync] の設定が「External」になっていませんか。Cubase や一部の DAW ソフトウェアでは録音が再生を実施しないと MIDI クロックを送信しないため、アルペジオが動作しません。
設定を「Auto」か「Internal」にするか、DAW ソフトウェアで録音が再生を実施してください。

● アルペジオの [HOLD] ボタンの LED ランプがオフで鍵盤を離しても、アルペジオの再生が止まらない

- ・ KX の電源が入っている間に、SUSTAIN 端子からフットスイッチを抜きませんでしたか。電源が入っている間に SUSTAIN 端子からフットスイッチを抜くと、アルペジオがオンのままになる場合がありますのでご注意ください。

● 鍵盤から指を離しても音が鳴ったままになる

- ・ KX の電源が入っている間に、SUSTAIN 端子からフットスイッチを抜きませんでしたか。電源が入っている間に SUSTAIN 端子からフットスイッチを抜くと、サステイン効果がオンのままになる場合がありますのでご注意ください。

● Cubase が KX を認識しない

- ・ USB-MIDI ドライバーおよび Extensions for Steinberg DAW はインストールされていますか？
- ・ Cubase 起動前に KX の電源を ON にしましたか？

NOTE

「音が出ない」「ノイズが発生する」などの問題については、各 DAW ソフトウェアの取扱説明書のトラブルシューティング (困ったときは) も併せてご確認ください。

メッセージ一覧

メッセージ	内容
MIDI buffer full.	一度に大量の MIDI データを受信したので処理できませんでした。
MIDI checksum error.	受信したシステムエクスクルーシブのチェックサムが違います。
MIDI data error.	MIDI データを受信中にエラーが生じました。
USB error.	USB TO HOST のエラーです。
Keyboard error.	鍵盤のエラーです。
Memory error.	保存用メモリのエラーです。
Device number is off.	デバイスナンバーが Off に設定されています。
Device number mismatch.	デバイスナンバーが一致していません。
Executing...	ジョブの実行中に表示されます。そのままお待ちください。
Completed.	ジョブの実行が完了したときに表示されます。
Template No.xx <xxxxxxxx>	テンプレートを自動的に切り替えたときに表示されます。
Are you sure? No → Dec/Yes → Inc	重要な変更をするときに表示されます。実行するなら DATA [INC] ボタンを、実行しないなら DATA [DEC] ボタンを押してください。
Receiving MIDI bulk.	MIDI バルクデータを受信中です。

TOOLS for KX DVD-ROM のご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、＜ソフトウェア使用許諾契約＞を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。本ソフトウェアのディスクの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。ご同意いただけない場合は、インストール、コピー、その他のご使用はおやめください。

ソフトウェア使用許諾契約

1. 著作権および使用許諾

弊社はお客様に対し、ソフトウェアプログラムおよびデータファイル（以下「本ソフトウェア」といいます。）を使用する権利を許諾します。本契約条項は、今後お客様に一定の条件付きで配布され得る本ソフトウェアのバージョンアッププログラム、データファイルにも適用されるものとし、本ソフトウェアの権利およびその著作権は、弊社または弊社のライセンサーが有します。本ソフトウェアの使用によって作成されたデータの権利はお客様が取得しますが、本ソフトウェアは、関連する著作権法規のもとで保護されています。

- ・ お客様のコンピューターにおいて使用することができます。
- ・ バックアップが許されているものは、バックアップをとる目的のみ、機械で読み取れる形式での本ソフトウェアのコピーを作成することができます。ただし、そのバックアップコピーには本ソフトウェアに表示されている弊社の著作権の表示や他の権利帰属についての説明文もコピーしてください。
- ・ お客様は、本ソフトウェアを使用する権利を第三者に譲渡することができますが、それは、お客様が本ソフトウェアのコピーを保持せず、かつ譲受人が本契約条項に同意する場合に限られます。

2. 使用制限

(1) 本ソフトウェアの使用にあたっては、次のことを遵守してください。

- ・ 本ソフトウェアには著作権があり、その保護のため、お客様が本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他のいかなる方法によっても、人間が感得できる形にすることは許されません。
- ・ 本ソフトウェアの全体または一部を複製、修正、変更、賃貸、リース、頒布または本ソフトウェアの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。
- ・ 本ソフトウェアをネットワークを通して別のコンピューターに伝送したり、ネットワークで他のコンピューターと共有することは許されません。
- ・ 本ソフトウェアを使用して、違法なデータや公序良俗に反するデータを配信することは許されません。
- ・ 弊社の許可無く本ソフトウェアの使用を前提としたサービスを立ち上げることは許されません。

(2) 楽曲用MIDIデータ等、本ソフトウェアにより使用または入手できる著作権曲については次のことを遵守してください。

- ・ 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく営業目的で使用することは許されません。
- ・ 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく複製、転送または配信したり、または不特定多数にむけて再生および演奏することは許されません。
- ・ 本ソフトウェアの使用によって入手できるデータの暗号を著作権者の許可無く解除したり、電子透かしを改変したりすることは許されません。

3. 終了

本契約はお客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日に発効します。本契約は、お客様が著作権法または本契約条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとし、その場合には、ただちに本ソフトウェアとそれに関するドキュメンテーション、およびそれらのコピーをすべて廃棄しなければなりません。

4. 製品の保証

本ソフトウェアがディスク等の媒体で販売された場合や、ディスク等の媒体で製品に同梱された場合には、弊社は、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から14日間に限り（お受け取りの日は、受領書の写しで証明される日とします）、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社の責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。弊社はそれ以上の保証はいたしません。

5. 本ソフトウェアに関する保証

本ソフトウェアのご使用についての一切のリスクはお客様のご負担となります。本ソフトウェアの商品性、特定の目的への適合性、第三者の権利を侵害しないことの保証は明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。特にお客様の目的に適合することや、ソフトウェアの操作が中断されないことやソフトウェアの欠陥や瑕疵が修正されることの保証はいたしません。

6. 責任の制限

弊社の義務は、お客様に本契約条項の条件で本ソフトウェアの使用を許諾することがすべてです。

弊社は、本ソフトウェアの使用、誤用またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生の可能性について予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。すべての損害、損失、契約や違法行為等に対する訴訟申立てについて、いかなる場合も、お客様に対する弊社の責任は、お客様が本ソフトウェアの購入のために支払った金額を越えることはありません。

7. 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション（以下「第三者ソフトウェア」といいます）を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本契約条項にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社

によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

- ・弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。
- ・弊社は、明示であると黙示であるとを問わず、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証をいたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様の負担となります。
- ・弊社は、第三者ソフトウェアの使用、誤用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

8. 一般事項

本契約条項は、弊社の権限ある者の署名のある書面によらない限り、改訂することはできません。

本契約条項は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。本契約に関し紛争が生じた場合には東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。

Cubase AI4のご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、＜ソフトウェア使用許諾契約＞を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。本ソフトウェアのディスクの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。ご同意いただけない場合は、インストール、コピー、その他のご使用はおやめください。

このソフトウェア使用許諾契約は、本製品に同梱している、スタインバーグ社の付属DAWソフトウェアに関して、お客様のご使用条件を規定するものです。付属DAWソフトウェアをインストールする過程で「スタインバーグ・エンドユーザー・ライセンス契約書」が表示されますが、その契約書は、このソフトウェア使用許諾契約に置き換えられるために、意味のないものです。インストールする際には、その「スタインバーグ・エンドユーザー・ライセンス契約書」を無視して「同意します」を一律選択し次に進んでください。

ソフトウェア使用許諾契約

1. 著作権および使用許諾

弊社はお客様に対し、ソフトウェアプログラムおよびデータファイル（以下「本ソフトウェア」といいます。）を使用する権利を許諾します。本契約条項は、今後お客様に一定の条件付きで配布され得る本ソフトウェアのバージョンアッププログラム、データファイルにも適用されるものとします。本ソフトウェアの権利およびその著作権はスタインバーグ社（ドイツ）にあり、弊社は同社からお客様に使用許諾するためのサブライセンス権を得ています。本ソフトウェアの使用によって作成されたデータの権利はお客様が取得しますが、本ソフトウェアは、関連する著作権法規のもとで保護されています。

- ・お客様ご自身が一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用することができます。
- ・バックアップが許されているものは、バックアップをとる目的でのみ、機械で読み取れる形式での本ソフトウェアのコピーを作成することができます。ただし、そのバックアップコピーには本ソフトウェアに表示されている弊社の著作権の表示や他の権利帰属についての説明文もコピーしてください。
- ・お客様は、製品本体を第三者に譲渡する場合に限り、付属品である本ソフトウェアを使用する権利を、同じ第三者に譲渡できます。ただし、お客様が本ソフトウェアのコピーを保持せず、かつ譲受人が本契約条項に同意する場合に限られます。

2. 使用制限

(1) 本ソフトウェアの使用にあたっては、次のことを遵守してください。

- ・本ソフトウェアには著作権があり、その保護のため、お客様が本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他のいかなる方法によっても、人間が感得できる形にすることは許されません。
- ・本ソフトウェアの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、頒布または本ソフトウェアの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。
- ・本ソフトウェアをネットワークを通して別のコンピュータに伝送したり、ネットワークで他のコンピュータと共有することは許されません。
- ・本ソフトウェアを使用して、違法なデータや公序良俗に反するデータを配信することは許されません。
- ・弊社の許可無く本ソフトウェアの使用を前提としたサービスを立ち上げることは許されません。

(2) 楽曲用MIDIデータ等、本ソフトウェアにより使用または入手できる著作権曲については次のことを遵守してください。

- ・本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく営業目的で使用することは許されません。
- ・本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく複製、転送または配信したり、または不特定多数にむけて再生および演奏することは許されません。
- ・本ソフトウェアの使用によって入手できるデータの暗号を著作権者の許可無く解除したり、電子透かしを改変したりすることは許されません。

3. 終了

本契約はお客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日に発効します。本契約は、お客様が著作権法または本契約条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに本ソフトウェアとそれに関するドキュメンテーション、およびそれらのコピーをすべて廃棄しなければなりません。

4. 製品の保証

本ソフトウェアがディスク等の媒体で販売された場合や、ディスク等の媒体で製品に同梱された場合には、弊社は、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から14日間に限り(お受け取りの日は、受領書の写しで証明される日とします)、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社の責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。弊社はそれ以上の保証はいたしません。

5. 本ソフトウェアに関する保証

本ソフトウェアのご使用についての一切のリスクはおお客様のご負担となります。

本ソフトウェアの商品性、特定の目的への適合性、第三者の権利を侵害しないことの保証は明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。特にお客様の目的に適合することや、ソフトウェアの操作が中断されないことやソフトウェアの欠陥や瑕疵が修正されることの保証はいたしません。

6. 責任の制限

弊社の義務は、お客様に本契約条項の条件で本ソフトウェアの使用を許諾することがすべてです。

弊社は、本ソフトウェアの使用、誤用またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生の可能性について予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。すべての損害、損失、契約や違法行為等に対する訴訟申立てについて、いかなる場合も、お客様に対する弊社の責任は、お客様が本ソフトウェアの購入のために支払った金額を越えることはありません。

7. 一般事項

本契約条項は、弊社の権限ある者の署名のある書面によらない限り、改訂することはできません。本契約条項は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。本契約に関し紛争が生じた場合には東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。

8. インストール時に表示される契約書

本ソフトウェアをインストールする過程で表示される「スタインバーク・エンドユーザー・ライセンス契約書」は、このソフトウェア使用許諾契約に置き換えられるために、意味のないものです。

資料

仕様

鍵盤	KX25	25 鍵 (イニシャルタッチ付き)
	KX49	49 鍵 (イニシャルタッチ付き)
	KX61	61 鍵 (イニシャルタッチ付き)
	KX8	88 鍵 (イニシャルタッチ付き)
シーケンサー部	アルペジオ	342 タイプ 540 フレーズ(66 × 4 + 276)
その他	リモート対応 DAW	<Windows> Cubase 4, Cubase Studio 4, Cubase AI4, SONAR 6 < Mac > Cubase 4, Cubase Studio 4, Cubase AI4, Logic7.2, Digital Performer 5.1 ※各ソフトウェアの機能によって、リモートコントロールできる内容が異なります。
主な操作子	ピッチベンドホイール × 1 モジュレーションホイール × 1 アサインابلノブ × 4	
ディスプレイ	16 文字 × 2 行バックライト付 LCD	
接続端子	USB(TO HOST) MIDI IN/OUT DC-IN FOOT SWITCH (SUSTAIN)	
消費電力	3.5W(電源アダプター駆動時) 0.6W(USB バスパワー駆動時)	
寸法・質量	KX25: 508(W) × 286.6(D) × 92(H) mm, 2kg KX49: 830(W) × 286.6(D) × 92(H) mm, 3kg KX61: 937(W) × 343.9(D) × 114.6(H) mm, 4.3kg KX8: 1340(W) × 445(D) × 157(H) mm, 15.1kg	
付属品	電源アダプター(PA-3C または PA-130) USB ケーブル, DVD-ROM × 2 枚, 保証書 取扱説明書 (本書)	

仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。

コントロールテンプレートリスト

番号	メーカー	商品名	KXでの表示
1	Steinberg	HALion One	HALionOne
2		Mystic	Mystic
3		Prologue	Prologue
4		Spector	Spector
5		Embracer	Embracer
6		Monologue	Monologue
7		Hypersonic2	Hypersonic
8		HALion3	HALion
9	Native Instruments	PRO-53	Pro-53
10		FM8	FM8
11		MASSIVE	Massive
12	KORG	Polysix	Polysix
13		WAVESTATION	Wavestation
14		Mono/Poly	MonoPoly
15		M1	M1
16		MS-20	MS-20
17	M-AUDIO / GForce	impOSCar	impOSCar
18		Minimonsta	Minimonsta
19		Oddity	Oddity
20	Arturia	Analog Factory	AnalogFactory
21		CS-80V	CS-80V
22		Jupiter-8V	Jupiter-8V
23		Minimoog V	Minimoog V
24	Novation Music	V-Station	V-Station
25		Bass Station	BassStation
26	reFX	VANGUARD	Vanguard
27	IK Multimedia	SampleTank2	SampleTank
28	Spectrasonics	ATMOSPHERE	Atmosphere
29		TRILOGY	Trilogy
30	--	--	Generic

コントロールテンプレートとノブの対応については以下の URL をご参照ください。

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>

アルペジオタイプリスト

Instrument Type 欄の内容は、該当するアルペジオの再生に適した HALionOne のインストゥルメント名です。

Category	Arp. No.	Arp. Name	Time Signature	Length	Original Tempo	Instrument Type
DrPc	1	ContmpRk	4/4	4	126	Stereo GM
DrPc	2	StdRock	4/4	4	131	:
DrPc	3	PowerRck	4/4	4	120	:
DrPc	4	AlternRk	4/4	4	100	RockSt2
DrPc	5	MondoRck	4/4	4	94	:
DrPc	6	XoverRk	4/4	2	100	:
DrPc	7	Rck&Roll	4/4	4	172	Stereo GM
DrPc	8	GuitrPp1	4/4	2	90	:
DrPc	9	GuitrPp2	4/4	4	100	:
DrPc	10	Unpluggd	4/4	4	120	:
DrPc	11	FingrPck	4/4	4	94	:
DrPc	12	Brit Pop	4/4	2	86	:
DrPc	13	EP Balld	4/4	2	60	:
DrPc	14	8BtBasic	4/4	4	120	:
DrPc	15	8Bt Soft	4/4	4	100	:
DrPc	16	16BtBld1	4/4	4	75	:
DrPc	17	16BtBld2	4/4	2	64	:
DrPc	18	16Bt Pop	4/4	4	103	:
DrPc	19	6/8 Pop	4/4	4	100	:
DrPc	20	6/8Balld	4/4	2	58	:
DrPc	21	Funk	4/4	4	107	:
DrPc	22	FunkRock	4/4	4	95	:
DrPc	23	JazzFunk	4/4	4	120	:
DrPc	24	SlowEasy	4/4	4	72	:
DrPc	25	ClubJazz	4/4	4	125	:
DrPc	26	PopShuff	4/4	4	94	:
DrPc	27	GosplFnk	4/4	4	106	:
DrPc	28	StdDisco	4/4	4	120	:
DrPc	29	PhilyDsc	4/4	2	100	:
DrPc	30	ChartPop	4/4	4	92	Hip Hop 1
DrPc	31	New R&B	4/4	1	97	:
DrPc	32	Smooth	4/4	4	64	:
DrPc	33	HipHop1	4/4	2	94	:
DrPc	34	HipHop2	4/4	2	105	:
DrPc	35	HipHop3	4/4	2	104	R&B Kit 1
DrPc	36	Hip Rock	4/4	4	132	:
DrPc	37	Regeton	4/4	4	98	Hip Hop 1
DrPc	38	RegetnPc	4/4	4	98	Percussion
DrPc	39	SoulBeat	4/4	4	124	Stereo GM
DrPc	40	SoulShuf	4/4	4	98	:
DrPc	41	Big Beat	4/4	4	115	RockSt2
DrPc	42	Breakbt	4/4	4	115	Tekno Kit
DrPc	43	Lo Beat	4/4	2	140	R&B Kit 1
DrPc	44	DrumBas	4/4	2	154	:
DrPc	45	Techno	4/4	8	135	Tekno Kit
DrPc	46	Trance	4/4	4	140	:
DrPc	47	DreamDnc	4/4	4	136	:
DrPc	48	Ibiza	4/4	2	135	R&B Kit 1
DrPc	49	EuroTeck	4/4	2	140	Tekno Kit
DrPc	50	Club Hus	4/4	2	128	R&B Kit 1
DrPc	51	House	4/4	2	123	:

Category	Arp. No.	Arp. Name	Time Signature	Length	Original Tempo	Instrument Type
DrPc	52	Garage	4/4	2	127	Tekno Kit
DrPc	53	AcoJazz	4/4	4	204	Jazz Kit
DrPc	54	ModernJz	4/4	16	218	:
DrPc	55	ShfBlues	4/4	4	115	Stereo GM
DrPc	56	SlwBlues	4/4	2	49	:
DrPc	57	PnBoogie	4/4	8	160	:
DrPc	58	Reggae	4/4	4	102	:
DrPc	59	ReggeShf	4/4	4	90	:
DrPc	60	Salsa	4/4	2	123	:
DrPc	61	SalsaPc	4/4	4	123	:
DrPc	62	Samba	4/4	4	120	:
DrPc	63	SambaPc	4/4	4	120	:
DrPc	64	Bossa	4/4	4	124	:
DrPc	65	BossaPc	4/4	4	124	:
DrPc	66	Spanish	4/4	2	120	:
CPrc	67	R&B Dsc	4/4	2	110	Vibes
CPrc	68	Trance	4/4	4	140	Marimba
CPrc	69	Ethnic1	6/4	5	118	Celeste
CPrc	70	Ethnic2	7/4	3	120	Music Box
CPrc	71	MOD	4/4	2	120	Glocken
CPrc	72	Trill	4/4	1	120	Marimba
Bass	73	CntmpRk1	4/4	4	126	Pick Bass
Bass	74	CntmpRk2	4/4	4	126	:
Bass	75	StdRck1	4/4	4	131	FingerBass
Bass	76	StdRck2	4/4	4	131	:
Bass	77	PowerRk1	4/4	4	120	Pick Bass
Bass	78	PowerRk2	4/4	4	120	:
Bass	79	AlternRk	4/4	4	100	FingerBass
Bass	80	XoverRk	4/4	1	100	:
Bass	81	Rck&Roll	4/4	4	172	Pick Bass
Bass	82	GuitrPp1	4/4	2	90	FingerBass
Bass	83	GuitrPp2	4/4	4	100	Pick Bass
Bass	84	Unpluggd	4/4	4	113	Acoustic
Bass	85	FingrPck	4/4	1	120	FingerBass
Bass	86	Brit Pop	4/4	2	86	:
Bass	87	EP Balld	4/4	2	60	:
Bass	88	8BtBasic	4/4	4	120	:
Bass	89	8BtSoft	4/4	4	100	:
Bass	90	16BtBld	4/4	4	75	:
Bass	91	16Bt Pop	4/4	4	103	SimpleSlap
Bass	92	6/8 Pop	4/4	4	100	FingerBass
Bass	93	6/8Balld	4/4	2	58	:
Bass	94	FingrBs1	4/4	1	115	:
Bass	95	FingrBs2	4/4	3	115	:
Bass	96	FingrBs3	4/4	2	150	:
Bass	97	FingrBs4	4/4	2	89	:
Bass	98	FingrBs5	4/4	1	115	:
Bass	99	SlapBass	4/4	3	120	SimpleSlap
Bass	100	FunkRock	4/4	4	95	FingerBass
Bass	101	JazFunk1	4/4	2	120	:
Bass	102	JazFunk2	4/4	4	120	:

Category	Arp. No.	Arp. Name	Time Signature	Length	Original Tempo	Instrument Type
Bass	103	SlowEasy	4 / 4	4	72	:
Bass	104	ClubJazz	4 / 4	4	125	:
Bass	105	PopShuff	4 / 4	4	94	Velo Slap
Bass	106	GospelFnk	4 / 4	4	106	FingerBass
Bass	107	StdDisco	4 / 4	1	120	:
Bass	108	PhilyDsc	4 / 4	2	100	:
Bass	109	ChartPop	4 / 4	4	92	SynthBass2
Bass	110	NewR&B1	4 / 4	1	97	:
Bass	111	NewR&B2	4 / 4	1	97	:
Bass	112	Smooth	4 / 4	2	64	:
Bass	113	HipHop1	4 / 4	2	105	:
Bass	114	HipHop2	4 / 4	2	94	:
Bass	115	HipHop3	4 / 4	2	94	:
Bass	116	HipHop4	4 / 4	2	94	:
Bass	117	Hip Rock	4 / 4	4	132	FingerBass
Bass	118	Regeton	4 / 4	4	98	SynthBass1
Bass	119	GruvBass	4 / 4	2	120	SynthBass2
Bass	120	SoulBeat	4 / 4	4	124	FingerBass
Bass	121	SoulShuf	4 / 4	4	98	:
Bass	122	ChillOut	4 / 4	2	79	:
Bass	123	Big Beat	4 / 4	4	115	:
Bass	124	Breakbt1	4 / 4	4	115	SynthBass1
Bass	125	Breakbt2	4 / 4	4	88	SynthBass2
Bass	126	DrumnBas	4 / 4	4	170	:
Bass	127	Techno	4 / 4	8	135	:
Bass	128	Trance	4 / 4	4	140	:
Bass	129	Tek Bass	4 / 4	1	138	:
Bass	130	DreamDnc	4 / 4	2	136	:
Bass	131	Ibiza	4 / 4	2	135	:
Bass	132	DiscoHus	4 / 4	4	126	:
Bass	133	ClubHus1	4 / 4	1	128	:
Bass	134	ClubHus2	4 / 4	1	128	:
Bass	135	Garage	4 / 4	2	127	:
Bass	136	HouseBas	4 / 4	4	120	:
Bass	137	AcidBass	4 / 4	1	120	:
Bass	138	AcoJazz1	4 / 4	4	204	Acoustic
Bass	139	AcoJazz2	4 / 4	4	204	:
Bass	140	ModrnJz1	4 / 4	16	218	:
Bass	141	ModrnJz2	4 / 4	16	218	:
Bass	142	ShfBlues	4 / 4	4	115	Pick Bass
Bass	143	SlwBlues	4 / 4	2	49	FingerBass
Bass	144	PnBoogie	4 / 4	8	160	Acoustic
Bass	145	Reggae	4 / 4	4	102	FingerBass
Bass	146	ReggeShf	4 / 4	4	90	:
Bass	147	Salsa	4 / 4	4	123	Acoustic
Bass	148	Montuno	4 / 4	4	100	FingerBass
Bass	149	Samba	4 / 4	2	120	:
Bass	150	Bossa	4 / 4	4	124	:
Bass	151	LatinHus	4 / 4	4	138	:
Bass	152	Spanish	4 / 4	1	120	:
Seq	153	Classic	4 / 4	1	120	Saw Ld
Seq	154	Oct Seq	4 / 4	1	130	Bass&Ld
Seq	155	RandmSeq	4 / 4	1	90	Sci-Fi
Seq	156	Vel Gruv	4 / 4	1	134	Saw Ld
Seq	157	X-Sweep	4 / 4	1	140	:

Category	Arp. No.	Arp. Name	Time Signature	Length	Original Tempo	Instrument Type
Seq	158	Simple1	4 / 4	1	130	Chiff Ld
Seq	159	Simple2	4 / 4	1	130	:
Seq	160	Simple3	4 / 4	1	130	:
Seq	161	Basic	4 / 4	1	130	Brightness
Seq	162	FifthSQ1	4 / 4	1	130	5th Ld
Seq	163	FifthSQ2	4 / 4	1	130	:
Seq	164	MuteLine	4 / 4	1	134	Saw Ld
Seq	165	Chodal	4 / 4	2	150	:
Seq	166	AltemRk	4 / 4	4	100	Charan Ld
Seq	167	Trance1	4 / 4	4	115	Chiff Ld
Seq	168	Trance2	4 / 4	1	140	Poly Synth
Seq	169	Trance3	4 / 4	4	140	:
Seq	170	Trance4	4 / 4	1	140	Square Ld
Seq	171	Trance5	4 / 4	1	140	:
Seq	172	Trance6	4 / 4	4	140	Bass&Ld
Seq	173	Trance7	4 / 4	1	140	Poly Synth
Seq	174	Trance8	4 / 4	1	130	:
Seq	175	Trance9	4 / 4	2	145	:
Seq	176	Trance10	4 / 4	2	145	:
Seq	177	DreamDnc	4 / 4	1	136	Square Ld
Seq	178	Ibiza1	4 / 4	2	135	Charan Ld
Seq	179	Ibiza2	4 / 4	2	135	Square Ld
Seq	180	Tekno	4 / 4	2	120	Saw Ld
Seq	181	SynArp1	4 / 4	1	130	:
Seq	182	SynArp2	4 / 4	1	130	:
Seq	183	SynArp3	4 / 4	1	130	:
Seq	184	SynArp4	4 / 4	1	90	:
Seq	185	SynArp5	4 / 4	1	138	:
Seq	186	Melody1	4 / 4	1	70	Brightness
Seq	187	Melody2	4 / 4	1	70	:
Seq	188	Electro1	4 / 4	1	130	Saw Ld
Seq	189	Electro2	4 / 4	1	130	:
Seq	190	Electro3	4 / 4	1	130	:
Seq	191	Electro4	4 / 4	1	130	:
Seq	192	Electro5	4 / 4	1	130	:
Seq	193	Electro6	4 / 4	1	130	:
Seq	194	CompuBas	4 / 4	1	130	Bass&Ld
Seq	195	Poly Arp	4 / 4	1	120	Saw Ld
Seq	196	Tek Echo	4 / 4	2	120	:
Seq	197	SuperArp	4 / 4	2	120	:
Seq	198	AcidLine	4 / 4	1	120	:
Seq	199	Doves	4 / 4	1	150	:
Seq	200	PulsLine	4 / 4	2	120	:
Seq	201	SyncEco	4 / 4	2	120	Poly Synth
Seq	202	Waggle	4 / 4	1	140	Saw Ld
ChSq	203	SynChrd1	4 / 4	1	130	Poly Synth
ChSq	204	SynChrd2	4 / 4	1	90	Bass&Ld
ChSq	205	BasChrd1	4 / 4	2	130	:
ChSq	206	BasChrd2	4 / 4	1	130	:
ChSq	207	ChillChd	4 / 4	1	90	Poly Synth
ChSq	208	TrancRtm	4 / 4	4	140	:
ChSq	209	Ibiza	4 / 4	2	135	Bass&Ld
ChSq	210	Garage	4 / 4	2	127	:
ChSq	211	Syncopat	4 / 4	2	120	Saw Ld
HySq	212	Hybrid1	4 / 4	1	130	:

Category	Arp. No.	Arp. Name	Time Signature	Length	Original Tempo	Instrument Type
HySq	213	Hybrid2	4/4	1	95	:
HySq	214	Hybrid3	4/4	1	130	:
HySq	215	Hybrid4	4/4	1	130	Bass&Ld
HySq	216	Hybrid5	4/4	1	106	:
ApKb	217	Pf Arp1	4/4	2	64	Acoustic Piano
ApKb	218	Pf Arp2	4/4	2	74	:
ApKb	219	Pf Arp3	4/4	2	130	:
ApKb	220	Pf Arp4	4/4	1	116	:
ApKb	221	Pf Arp5	4/4	1	82	:
ApKb	222	Pf Arp6	4/4	2	130	:
ApKb	223	Pf Arp7	4/4	2	130	:
ApKb	224	Pf Arp8	4/4	1	74	:
ApKb	225	70sRock1	4/4	2	130	:
ApKb	226	70sRock2	4/4	4	130	:
ApKb	227	EP Balld	4/4	2	60	E_Piano 1
ApKb	228	Slowfeel	4/4	1	74	:
ApKb	229	16Bt Pop	4/4	4	103	:
ApKb	230	AnalgPop	4/4	2	93	:
ApKb	231	ClubJazz	4/4	4	125	Acoustic Piano
ApKb	232	ChartPop	4/4	1	92	E_Piano 1
ApKb	233	Swing EP	4/4	1	101	:
ApKb	234	6/8 R&B	4/4	2	61	:
ApKb	235	HipHop1	4/4	2	105	:
ApKb	236	HipHop2	4/4	2	105	:
ApKb	237	HipHop3	4/4	2	105	Harpsichord
ApKb	238	Clavi1	4/4	1	110	Brite Clav
ApKb	239	Clavi2	4/4	1	110	:
ApKb	240	Clavi3	4/4	1	124	:
ApKb	241	DrumBas	4/4	4	170	E_Piano 1
ApKb	242	ClubHus	4/4	2	128	:
ApKb	243	HousePf	4/4	2	130	Rock Piano
ApKb	244	Reggae	4/4	2	92	Brite Clav
ApKb	245	Salsa	4/4	1	123	Rock Piano
ApKb	246	Montuno	4/4	2	100	:
ApKb	247	PnoLatin	4/4	2	120	:
Orgn	248	HouseOrg	4/4	1	130	Perc Organ
Orgn	249	Reggae	4/4	1	92	Draw Organ
Orgn	250	LatinOrg	4/4	1	110	Rock Organ
GtPl	251	Strum1	4/4	2	120	Steel
GtPl	252	Strum2	4/4	2	120	:
GtPl	253	Strum3	4/4	2	120	:
GtPl	254	SteelGtr	4/4	4	120	:
GtPl	255	GtrArp1	4/4	1	120	:
GtPl	256	GtrArp2	4/4	1	120	:
GtPl	257	OvdrGtr1	4/4	4	120	Overdrive
GtPl	258	OvdrGtr2	4/4	4	120	:
GtPl	259	OvdrGtr3	4/4	4	120	:
GtPl	260	OvdrGtr4	4/4	4	120	:
GtPl	261	ContmpRk	4/4	4	126	:
GtPl	262	StdRck1	4/4	4	131	:
GtPl	263	StdRck2	4/4	4	131	:
GtPl	264	PowerRk1	4/4	4	120	Distortion
GtPl	265	PowerRk2	4/4	4	120	:
GtPl	266	PowerRk3	4/4	4	120	:
GtPl	267	AlterRk1	4/4	4	97	Overdrive

Category	Arp. No.	Arp. Name	Time Signature	Length	Original Tempo	Instrument Type
GtPl	268	AlterRk2	4/4	4	97	:
GtPl	269	XoverRk1	4/4	2	100	:
GtPl	270	XoverRk2	4/4	2	100	Distortion
GtPl	271	Rck&Roll	4/4	4	172	Clean
GtPl	272	GuitPp1	4/4	2	90	Nylon
GtPl	273	GuitPp2	4/4	1	90	:
GtPl	274	GuitPp3	4/4	4	100	Steel
GtPl	275	GuitPp4	4/4	4	100	Clean
GtPl	276	GuitPp5	4/4	1	90	Nylon
GtPl	277	Unplug1	4/4	4	120	Steel
GtPl	278	Unplug2	4/4	2	120	:
GtPl	279	Unplug3	4/4	2	120	:
GtPl	280	FingrPk1	4/4	2	120	:
GtPl	281	FingrPk2	4/4	2	120	:
GtPl	282	BritPop1	4/4	2	86	:
GtPl	283	BritPop2	4/4	2	86	Clean
GtPl	284	EP Balld	4/4	2	60	:
GtPl	285	8BtBasic	4/4	4	120	:
GtPl	286	8BtSoft	4/4	4	100	Steel
GtPl	287	16BtBlld	4/4	4	75	Clean
GtPl	288	6/8 Pop	4/4	4	100	:
GtPl	289	6/8Balld	4/4	2	58	:
GtPl	290	Funky1	4/4	2	120	:
GtPl	291	Funky2	4/4	2	120	:
GtPl	292	Funky3	4/4	1	120	:
GtPl	293	CleanGt1	4/4	4	107	:
GtPl	294	CleanGt2	4/4	2	120	:
GtPl	295	CleanGt3	4/4	2	120	:
GtPl	296	CleanGt4	4/4	4	127	:
GtPl	297	CleanGt5	4/4	4	107	:
GtPl	298	Spanky	4/4	2	105	:
GtPl	299	FunkRock	4/4	4	94	:
GtPl	300	JazzFunk	4/4	4	120	:
GtPl	301	SlowEasy	4/4	4	72	:
GtPl	302	GospIFnk	4/4	4	106	:
GtPl	303	PopShuff	4/4	4	94	:
GtPl	304	StdDisco	4/4	4	120	:
GtPl	305	PhilyDsc	4/4	2	100	:
GtPl	306	New R&B	4/4	1	97	Steel
GtPl	307	Smooth	4/4	2	64	Nylon
GtPl	308	HipHop1	4/4	2	94	Mute
GtPl	309	HipHop2	4/4	2	94	:
GtPl	310	HipRock1	4/4	4	90	Overdrive
GtPl	311	HipRock2	4/4	4	132	:
GtPl	312	SoulBeat	4/4	4	124	Clean
GtPl	313	SoulShuf	4/4	4	98	:
GtPl	314	Big Beat	4/4	4	115	Overdrive
GtPl	315	AcJazz	4/4	4	204	ModernJazz
GtPl	316	ModernJz	4/4	16	218	:
GtPl	317	ShfBlues	4/4	4	115	Mute
GtPl	318	SlwBlues	4/4	2	49	Overdrive
GtPl	319	PnBoogie	4/4	4	160	Clean
GtPl	320	Reggae	4/4	2	102	:
GtPl	321	ReggeShf	4/4	4	90	:
GtPl	322	Samba	4/4	4	120	Nylon

Category	Arp. No.	Arp. Name	Time Signature	Length	Original Tempo	Instrument Type
GtPl	323	Bossa	4 / 4	4	124	:
GtPl	324	Spanish1	4 / 4	2	120	:
GtPl	325	Spanish2	4 / 4	2	120	Steel
GtPl	326	Lick1	4 / 4	4	120	Distortion
GtPl	327	Lick2	4 / 4	4	120	:
GtPl	328	Lick3	4 / 4	2	120	:
GtPl	329	Lick4	4 / 4	4	120	:
GtPl	330	Lick5	4 / 4	1	120	:
Strm	331	Strings	4 / 4	1	101	StereoSt1
Strm	332	New R&B	4 / 4	2	90	:
Strm	333	Pizz	4 / 4	1	120	Pizz
Bras	334	Funk1	4 / 4	4	132	Brass Sect
Bras	335	Funk2	4 / 4	1	132	:
Bras	336	Samba	4 / 4	2	120	:
RdPp	337	Hip Hop	4 / 4	2	105	TenorSax 2
RdPp	338	Soul	4 / 4	4	120	:
RdPp	339	Flutter	4 / 4	1	120	:
Lead	340	R&B Dsc1	4 / 4	1	110	Bass&Ld
Lead	341	R&B Dsc2	4 / 4	2	110	:
Lead	342	Regeton	4 / 4	4	98	Caliop Ld

MIDI インプリメンテーションチャート

YAMAHA [USB KEYBOARD STUDIO] Date : 10-JAN-2008
 Model KX25/KX49/KX61/KX8 MIDI Implementation Chart Version : 1.0

Function...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default Changed 1 - 16 1 - 16	X X	Memorized
Mode	Default Messages Altered 3 X *****	X X X	
Note Number	: True voice 0 - 127 *****	X X	
Velocity	Note ON Note OFF 9nH, v=1-127 8nH, v=0	X X	
After Touch	Key's Ch's X X	X X	
Pitch Bend	O	X	
Control Change	0, 32 1, 7, 10, 11 6, 38 64 65 66 71-75 91, 93 96-97 100-101 0-127	X X X X X X X X X X X X X	Bank Select Data Entry Sustain Sw Portamento Sw Sostenuto Sound Controller Effect Depth RPN Inc, Dec RPN LSB, MSB Assignable Cntrl

索引

A

ADD INSTRUMENT TRACK.....	10, 19
ARP EDIT.....	10, 33
ARP ON/OFF.....	10, 20
ASSIGN 1.....	11, 25, 34
ASSIGN 1 ~ 4(CONTROL ノブ).....	10, 24
ASSIGN 2.....	11, 25, 34
Auto.....	36

B

BeatStretch.....	33
BulkTransmit.....	37

C

Clock.....	36
CONTROL TEMPLATE.....	10, 28
CONTROL ノブ.....	10, 24
Cubase.....	17
Cubase AI4.....	13
CUBASE FUNCTION.....	11, 23

D

DATA.....	10, 17, 31
DAW Select.....	34, 37
DC IN.....	11
DC IN 端子.....	9
Device Number.....	37
Display Time.....	37

E

ENTER.....	11, 25, 34
ESC.....	11, 25, 34
EXIT.....	10
Extensions for Steinberg DAW.....	13
External.....	36

F

Fix.....	27, 36
----------	--------

G

GateTime.....	33
---------------	----

H

Hard1.....	27, 36
Hard2.....	27, 36
HOLD.....	10, 21

I

Internal.....	36
---------------	----

K

KX Editor.....	6
----------------	---

M

MIDI.....	37
MIDI IN.....	11
MIDI OUT.....	11
MIDI Select.....	37
MIDI Transmit Ch.....	37
MIDI スルー.....	37, 38
MIDI ポート.....	18
MUTE.....	25

N

Normal.....	27, 36
-------------	--------

O

OCTAVE.....	10, 27
Octave LED.....	37
OctRange.....	33

P

PC+Remot.....	37
ProgChg.....	37
ProgChgMode.....	37
PROGRAM.....	11, 19, 34

R

REC.....	25, 34
Remote.....	29, 37

S

SELECT.....	10, 26
Soft1.....	27, 36
Soft2.....	27, 36
SOLO.....	25, 34
STANDBY/ON スイッチ.....	9, 11
SUSTAIN.....	11, 16
Swing.....	33
SwingValue.....	33
Sync.....	36

T		て	
TEMPO	10	ディスプレイ	10, 26
Tempo.....	32, 36	電源.....	9
TOOLS for KX	13	電源アダプター	9
TRACK(トラックコントロールボタン).....	11, 25	テンポ.....	32, 36
TRANSPORT (トランスポートコントロールボタン).....	11, 25		
U		と	
USB	37	トップ画面	26
USB MIDI ポート.....	18	トラックコントロール.....	25
USB TO HOST	11	トランスポート	25
USB-MIDI ドライバー	13		
USB バスパワー	9	の	
UTILITY	10, 36	ノブ.....	24
		ノブ切り替えボタン.....	10
V		は	
VELOCITY CURVE.....	10, 27	早送り.....	25, 34
Velocity Curve	27	ひ	
VeloCurve	36	ピッチベンドホイール.....	11
VeloFix	36	ふ	
VSTi.....	19	ファクトリーセット.....	37
VSTi WINDOW	10, 34	フットスイッチ	16
VSTi リモート	29		
あ		へ	
アルペジオ	31	ベロシティーカーブ.....	27, 36
アルペジオタイプ	46	ほ	
い		ホイール	11
インストール.....	13	ま	
お		巻き戻し	25, 34
オクターブ.....	27	み	
か		ミュート	25
カーソル.....	11, 25	も	
こ		モジュレーションホイール	11
コントロールチェンジ	29	り	
コントロールテンプレート.....	28	リピート オン/オフ	25, 34
さ		ろ	
再生.....	25, 34	録音.....	25, 34
サステイン	11, 16		
そ			
ソロ.....	25		

ユーザーサポートについて

ユーザーサポートサービスのご案内

ヤマハデジタル製品は、常に新技術 / 高機能を搭載し技術革新を進める一方、お使いになる方々の負担とわずらわしさを軽減できるような製品づくりを進めております。また取扱説明書の記載内容も、よりわかりやすく使いやすいものにするため、研究 / 改善いたしております。

しかし、一部高機能デジタル製品では、取扱説明書だけでは説明しきれないほどのいろいろな知識や経験を必要としてしまうものがあります。

実際の操作に関して、基本項目は取扱説明書に解説いたしておりますが、「記載内容が理解できない」、「手順通りに動作しない」、「記載が見つからない」といったさまざまな問題が起こる場合があります。

そのようなお客様への一助となるよう、弊社ではデジタルインフォメーションセンターを開設いたしております。

お気軽にご利用いただけますようご案内申し上げます。お問い合わせの際には、「製品名」、「シリアル番号 (SER No.)」をお知らせください。

ヤマハデジタルインフォメーションセンター

◆ TEL: 053-460-1666

◆ 受付日: 月曜日～土曜日
(祝日およびセンターの休業日を除く)

◆ 受付時間: 10:00～18:00
(土曜日は 10:00～17:00)

<http://www.yamaha.co.jp/support/>

Cubase AI4、他社製 VSTi について

ヤマハ株式会社では、Cubase AI4 や他社製 VSTi (TOOLS for KX に収録) についてのサポートは一切行っておりません。

Cubase AI4 については、Steinberg 社のホームページをご覧ください。Steinberg 社のホームページでは、製品に関するサポート情報や最新のアップデートのダウンロード、FAQ などを下記 URL にて公開しております。

<http://japan.steinberg.net/>

付属 DAW ソフトウェアの [ヘルプ (Help)] メニューから Steinberg 社のホームページにアクセスできます。(ヘルプメニューには Cubase の PDF マニュアルや追加情報なども掲載されています。)

●営業窓口

国内営業本部 LM 営業部 企画推進室

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL. (03) 5488-5430

PA・DMI事業部 MP 推進部 マーケティンググループ

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

TEL. (053) 460-2432

ヤマハデジタル楽器・DTM 製品ホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>

ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

あなたの音楽生活をフルサポート

ミュージックイークラブ

<http://www.music-eclub.com/>

お客様サポート & サービス

<http://www.yamaha.co.jp/support/>

* 名称、住所、電話番号、URL などは変更になる場合があります。

■ 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

●保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡しますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げ日から1年間です。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

●持込み修理のお願い

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

■ ヤマハ電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お持込み窓口)

◆修理のご依頼 / 修理についてのご相談窓口

ヤマハ電気音響製品修理ご相談センター

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～19:00

土曜日 9:00～17:30

(祝祭日および弊社休業日を除く)

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-012-808

※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

FAX (053)463-1127

◆修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45

(浜松サービスステーションは 8:45～17:30)

(祝祭日および弊社休業日を除く)

* お電話は、電気音響製品修理ご相談センターでお受けします。

北海道サービスステーション

〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内

FAX (011)512-6109

首都圏サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟
A-5F

FAX (03)5762-2125

浜松サービスステーション

〒435-0016 浜松市東区和田町200
ヤマハ(株)和田工場内

FAX (053)462-9244

名古屋サービスセンター

〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F

FAX (052)652-0043

大阪サービスセンター

〒564-0052 吹田市広芝町10-28 オーク江坂ビル
ディング2F

FAX (06)6330-5535

九州サービスステーション

〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4

FAX (092)472-2137

* 名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。



ヤマハデジタル楽器・DTM製品ホームページ
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>
ヤマハマニュアルライブラリー
<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>
あなたの音楽生活をフルサポート ミュージックイー klub
<http://www.music-eclub.com/>
お客様サポート&サービス
<http://www.yamaha.co.jp/support/>